

事 務 概 要

令和 7 年度



(白浜町 白良浜)

2024 年 6 月 12 日～16 日に和歌山県・白浜町及び田辺市にて開催された
「WFDF2024 アジア・オセアニアビーチアルティメット選手権大会 (A0BUC2024)」

和歌山県西牟婁振興局地域づくり部

目 次

概況	-----	1
1. 所在地	-----	1
2. 管内市町の概要	-----	1
地域づくり部組織図	-----	3
所掌事務	-----	4
総務県民課	-----	5
総務グループ	-----	5
1. 選挙関係	-----	5
(1) 選挙事務	-----	5
(2) 選挙出前講座	-----	5
(3) 和歌山県明るい選挙啓発ポスター作品展示会	-----	5
2. 庁舎等管理	-----	6
(1) 西牟婁総合庁舎の維持管理	-----	6
(2) 西牟婁職員住宅の維持管理	-----	6
3. 物品調達事務	-----	6
人権・県民グループ	-----	7
1. 人権	-----	7
(1) 同和運動推進月間	-----	7
(2) 人権を考える強調月間	-----	7
(3) 和歌山県人権尊重の社会づくり協定	-----	7
2. 県民相談	-----	9
3. 文化振興	-----	9
4. 交通安全対策	-----	9
5. パスポート	-----	10
6. 西牟婁地方子ども会連絡会	-----	10
7. 西牟婁郡地域活動連絡協議会	-----	10
8. 青少年対策	-----	11
(1) 西牟婁地方青少年対策本部	-----	11
(2) 西牟婁地方青少年育成市町民会議連絡協議会	-----	11
9. 男女共同参画	-----	12
(1) 男女共同参画週間	-----	12
(2) 女性に対する暴力をなくす運動期間	-----	12
(3) 女性活躍企業同盟	-----	12

地域づくり課	-----	1 5
地域振興・防災グループ	-----	1 5
1. 地域振興	-----	1 5
(1) 地域づくり等地域振興対策	-----	1 5
(2) 過疎集落の活性化対策	-----	1 9
(3) 移住・定住交流推進対策	-----	2 1
(4) まちづくりの推進・支援	-----	2 2
(5) 地域公共交通に関すること	-----	2 4
(6) こども食堂	-----	2 4
(7) 行政DXの推進	-----	2 5
(8) 脱炭素の推進	-----	2 6
2. 防災	-----	2 6
(1) 職員の防災体制	-----	2 6
(2) 防災研修・防災訓練	-----	2 6
(3) わかやま防災力パワーアップ補助事業	-----	2 8
3. 消防	-----	2 9
4. 危機管理	-----	3 0
 産業振興グループ	-----	3 1
1. 商工業	-----	3 1
(1) 商工会・商工会議所	-----	3 1
(2) 小規模事業経営支援事業	-----	3 1
2. 県産品のブランド推進	-----	3 3
3. 観光	-----	3 4
(1) 県全体の取り組みについて	-----	3 4
(2) 南紀エリア独自の取り組みについて	-----	3 6
(3) 南紀白浜空港の利用促進	-----	3 8
4. 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の概況	-----	3 9
(1) 和歌山県世界遺産条例	-----	4 0
(2) 世界遺産マスター	-----	4 0
(3) 世界遺産関係関連事業	-----	4 1
5. 南紀熊野ジオパークの取組	-----	4 3
6. スポーツ合宿誘致	-----	4 4
7. 大阪・関西万博	-----	4 5

■概況

当部が所管する田辺・西牟婁地域は、田辺市、西牟婁郡（白浜町、上富田町、すさみ町）の1市3町で、面積は合わせて約1,460 km²あり、和歌山県全体の約31%を占めています。

海岸部は黒潮の影響を受け年間を通じて温暖な一方、山間部は紀伊山脈（きいさんみやく）を中核とする山岳地帯となっており、標高1,372メートルに達する護摩壇山（ごまだんざん）周辺では冬季に積雪や樹氷がみられるなど、変化に富んだ気候となっています。

道路網は、海岸線に沿って国道42号が通り、並行して近畿自動車道紀勢線が整備されています。平成27年8月には、田辺～すさみ区間が開通、令和3年12月には、印南区間まで4車線化されました。現在は印南から南紀田辺の区間で4車線化工事が行われています。山間部には田辺市街地と本宮方面を結ぶ国道311号や、本宮と新宮を結ぶ国道168号、紀伊半島を横断する国道425号等が縦横に通っています。

鉄道は、紀伊半島の海岸部をJR紀勢本線が走り、新大阪駅と白浜駅を「特急くろしお」が約2時間30分で結んでいます。また、白浜町の熊野白浜リゾート空港（正式名称：南紀白浜空港）からは、ジェット機が東京へ1日3便就航しており、羽田空港まで約75分となっています。

管内は古くから観光地として有名で、リアス海岸の変化に富んだ海岸線と、紀州・木の国の森林で知られる山なみを背景に、本宮、白浜、龍神など各地の温泉や、海・山・川でのアウトドアスポーツを楽しむ観光客で年間を通してにぎわっています。

特に、平成16年に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」は、世界でも珍しい「文化的景観」で知られ、古道歩きを楽しむ海外からの観光客も年々増加しています。令和6年7月7日には登録20周年を迎え、様々な特別企画や地域のPRイベントが実施されました。



1. 所在地

西牟婁振興局地域づくり部
田辺市朝日ヶ丘23-1
西牟婁総合庁舎3階

2. 管内市町の概要

市町名	人口（人）			世帯数 （世帯）	面積 （km ² ）
	男	女	計		
田辺市	32,165	36,283	68,448	34,865	1026.89
白浜町	9,557	10,604	20,161	11,106	200.99
上富田町	7,520	8,200	15,720	7,530	57.37
すさみ町	1,739	1,868	3,607	2,033	174.45
管内合計	50,981	56,955	107,936	55,534	1459.70

出展：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」令和6年1月1日現在

国土交通省国土地理院「全国市町村別面積調」令和6年10月1日現在

(1) 田辺市

田辺市は、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する熊野本宮大社や闘雞神社を代表とする観光資源があります。また、日本三美人の湯の一つである龍神温泉や日本最古の温泉である湯の峰温泉、河原全体が温泉となっている川湯温泉などが山里に点在しています。

このほか、ナショナルトラスト運動先駆けの地である天神崎や、ファミリービーチとして人気の高い田辺扇ヶ浜海水浴場、梅の香り漂う紀州石神田辺梅林、自然が創り出す滝と溪谷を満喫できる百間山溪谷など、豊かな自然資源があふれています。

(2) 白浜町

白浜町は、古から温泉地として栄えてきました。白浜温泉は、道後温泉、有馬温泉と並び、日本三古湯の一つであります。温泉街にはホテルや旅館、民宿などが点在し、大規模なテーマパークや文化施設が集まっています。

また、豊かな自然に恵まれた海岸線はリアス海岸で、三段壁、千畳敷、円月島などの景勝地があります。世界文化遺産の熊野古道「大辺路」もあり、「南紀熊野ジオパーク」「吉野熊野国立公園」に指定されている風光明媚な観光地です。

(3) 上富田町

上富田町は、熊野古道「中辺路」の入口にあたることから「口熊野」と呼ばれてきました。世界文化遺産の八上王子跡や稲葉根王子跡、熊野詣に來た人が聖地に入る前に身を清めたと言われる水垢離場などがあり、中央部を流れる富田川では「水垢離」が体験できるなど、歴史と自然の豊かさが魅力です。

また、町のランドマークでもある上富田スポーツセンターは、Ｊリーグやラグビートップリーグ、実業団の野球チーム等が合宿に訪れ、県内屈指の規模を誇ります。

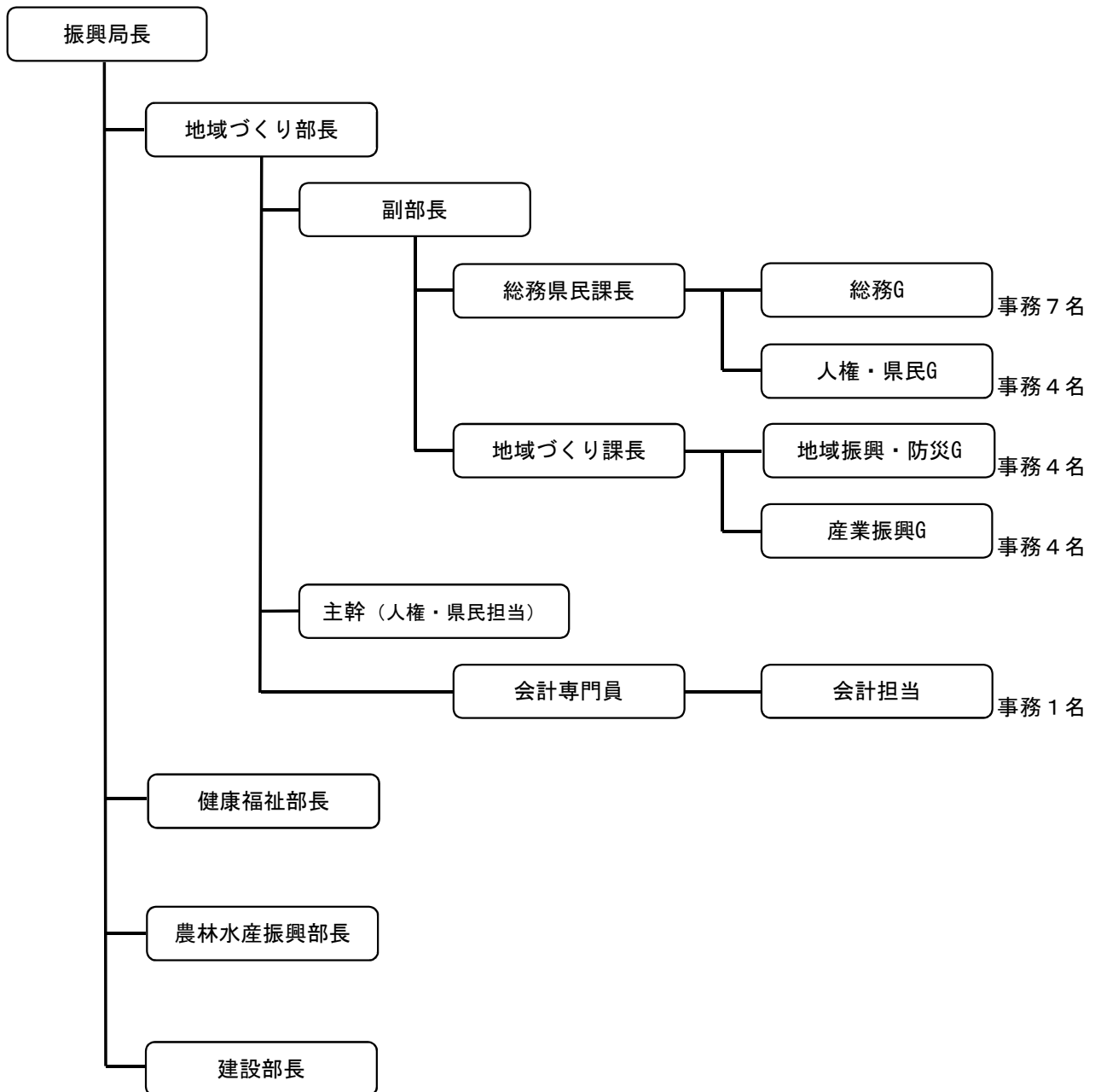
(4) すさみ町

すさみ町は、農林漁業と観光を主要産業としています。温暖な気候を活かしてレタス栽培が行われ、良質なすさみレタスは関西随一とされています。漁業は、黒潮本流に近い地の利により、明治以来「ケンケン船」の全国屈指の基地として知られ、カツオ、ヨコワ、キハダマグロ等が水揚げされています。

海岸線一帯は、関西随一の釣り場として有名であり、近年では、マリンスポーツやサイクリング、南紀熊野ジオパークを代表するジオサイト「フェニックス褶曲」や世界文化遺産に登録された熊野古道「大辺路」の「長井坂」も脚光を浴びています。

地域づくり部 組織図

(R7. 4. 1現在)



■所掌事務

課名	グループ名	主な所掌事務
総務県民課	総務グループ	公職選挙法に関すること 庁舎及び職員住宅の管理に関すること 公有財産の維持管理に関すること 農林水産振興部の予算の経理及び契約に関すること 物品の調達、支出事務その他の庶務事務に関すること 職員の給与及び手当、健康管理に関すること 叙勲、表彰（地方自治功労）に関すること
	人権・県民グループ	人権行政・啓発に関すること ジェンダー平等の推進に関すること 交通安全の対策及び安全・安心まちづくりに関すること 消費者行政及び移動県民相談に関すること 西牟婁地方青少年市町民会議連絡協議会に関すること 西牟婁地方子ども会連絡会及び西牟婁郡地域活動連絡協議会に関すること NPO・県民運動に関すること 宗教法人に関すること 旅券事務及び県証紙の販売に関すること 文化の振興及び国際交流に関すること 南方熊楠記念館・顕彰館に関すること 地域づくり部の予算の経理及び契約に関すること
	会計担当	振興局及び管内各機関の会計事務に関すること ※所管機関 西牟婁振興局各部、紀南県税事務所、紀南児童相談所、 田辺産業技術専門学院、紀南教育事務所、県立学校（８校）、 教育センター学びの丘、田辺警察署、白浜警察署
地域づくり課	地域振興・防災グループ	地域情報の収集に関すること まちづくりに関すること タウンミーティングに関すること 移住交流・定住推進に関すること 地域おこし協力隊に関すること 振興局地域づくり支援事業に関すること 振興局地域課題解決促進事業に関すること 第２世代交付金に関すること こども食堂に関すること 地域づくり等地域の振興に関すること 過疎集落再生活活性化支援事業に関すること 地域公共交通に関すること 行政DXの推進に係る市町村への支援に関すること 市町における脱炭素の推進業務に関すること 防災対策に関すること 危機管理・国民保護に関すること 消防に関すること 叙勲、表彰（消防関係）に関すること
	産業振興グループ	地域情報の収集に関すること 商工振興に関すること 企業誘致に関すること 雇用促進に関すること 地方改善施設整備事業（大型共同作業所）に関すること 人権施策推進協議会雇用部会に関すること 県産品のブランド推進に関すること 観光振興に関すること 南紀エリア観光推進実行委員会に関すること ワーケーションに関すること 旅行業登録等の許可に関すること 広報広聴に関すること 振興局ホームページ管理に関すること 熊野白浜リゾート空港利用促進に関すること 南紀熊野ジオパークに関すること スポーツ合宿誘致推進に関すること 大阪・関西万博、新総合計画策定に関すること

■総務県民課

○総務グループ

1. 選挙関係

(1) 選挙事務

和歌山県選挙管理委員会事務局西牟婁分局として、国政選挙、知事選挙、県議会議員選挙等の選挙関係事務や、政治資金規正法の規定に基づく政治団体の設立・異動・解散の届や収支報告書の受理等の事務を行っています。

また、管内市町の各選挙管理委員会からの質疑に対する回答や、各種照会・回答、報告等の取りまとめを行っています。

(2) 選挙出前講座

選挙の仕組みや重要性を学習することにより、政治・選挙についての関心を高め、社会参画への意識向上を図ることを目的に、小学校・中学校・高等学校等を対象に選挙出前講座を実施しています。

令和6年度は、税に関する興味・関心を高めることを目的に税務署職員が小学校・中学校・高等学校等へ出向いて行う「租税教室」と共同で実施しており、例年に比べて多くの学校から申し込みをいただきました。

◆講座の実施状況（過去3年間）

年度	学校名・学年（実施日）
令和4年度 2校	熊野高等学校3年(R4.10.12) 田辺高等学校3年(R4.12.21)
令和5年度 1校	田辺高等学校3年(R5.12.18)
令和6年度 6校	周参見中学校3年(R6.6.27) 龍神中学校3年(R6.7.5) 市ノ瀬小学校6年(R6.9.12) 高雄中学校3年(R6.9.17) 中辺路中学校全校(R6.12.12) 田辺高等学校3年(R7.1.14)

(3) 和歌山県明るい選挙啓発ポスター 作品展示会

児童・生徒が描いた明るい選挙の啓発ポスターを展示し、明るい選挙推進運動の一助とするため、例年2月ごろ田辺市で展示会を開催しています。

田辺会場では、委員長賞・入選作品（海南市の応募作品を除く。）・田辺市の佳作等を掲示しています。



2. 庁舎等管理

(1) 西牟婁総合庁舎の維持管理

西牟婁総合庁舎は本館（エレベータ棟を含む）、車庫棟、犬舎、倉庫・倉庫会議室棟で構成されています。本館は昭和49年3月31日に建築されたもので、平成20年12月には耐震改修を行っておりますが、全体的に老朽化が進んでおり、各種設備の修繕が必要な時期となっています。

また、建物の維持管理に必要な業務については、専門業者に委託して実施しています。

◆保守点検（法定点検）業務

業務名	頻度
浄化槽の維持管理業務	2週間に1回
エレベーター保守点検	3か月に1回
自家用電気設備点検	2か月に1回
空気環境測定業務	2か月に1回
消防設備保守点検	年2回
冷暖房設備保守点検	年2回
害虫駆除業務	年2回
貯水槽の水質検査業務	年2回
貯水槽清掃業務	年1回
地下タンク貯蔵所点検	年1回

その他、電話交換業務、庁舎警備業務、ゴミ処理業務、庁舎清掃業務、樹木剪定等を委託して実施しています。

(2) 西牟婁職員住宅の維持管理

西牟婁職員住宅の保守点検（法定点検）として、浄化槽の維持管理業務を年4回、エレベーター保守点検を2か月に1回（制御盤更新済のものは3か月に1回）、消防設備保守点検を年2回、貯水槽の水質検査業務及び清掃業務を年1回、専門業者に委託して実施しています。

3. 物品調達事務

西牟婁振興局及び管内各機関の物品調達事務を集中して行っています。

◆所管する所属名

振興局内	学校等	その他
西牟婁振興局地域づくり部 西牟婁振興局農林水産振興部 西牟婁振興局健康福祉部 西牟婁振興局建設部 紀南県税事務所	紀南教育事務所 教育センター学びの丘 田辺中学校 南部高等学校 田辺高等学校 田辺工業高等学校 神島高等学校 熊野高等学校 南紀高等学校 南紀はまゆう支援学校 紀南図書館	防災航空センター 消費生活センター紀南支所 紀南児童相談所 田辺産業技術専門学院 世界遺産センター 林業試験場 農林大学校林業研修部（上富田） 紀南家畜保健衛生所
警 察		
田辺警察署 白浜警察署		

○人権・県民グループ

1. 人権

県では、平成14年4月に「和歌山県人権尊重の社会づくり条例」が、平成16年8月には「和歌山県人権施策基本方針」が策定（令和7年3月改訂）され、人権施策の推進に取り組んでいます。また、令和2年3月には、「和歌山県部落差別の解消の推進に関する条例」が施行され、引き続き部落差別の解消の推進に取り組んでいるところです。

（１）同和運動推進月間（11月1日～30日）

令和6年度は、下記のとおり啓発活動を行いました。

実施日	実施場所
11月1日	株式会社オークワ パビリオンシティ田辺店

（２）人権を考える強調月間（11月11日～12月10日）

令和6年度は、下記のとおり啓発活動を行いました。

実施日	実施場所
11月11日	ディスカウントストア プライスカット下万呂店

（３）和歌山県人権尊重の社会づくり協定

和歌山県人権尊重の社会づくり条例の理念に則り、すべての人の人権が尊重される豊かな社会を実現することを目的とし、県が人権尊重の社会づくりに取り組む企業及び団体と、和歌山県人権尊重の社会づくり協定を締結しています。県内の協定締結企業・団体等数は405団体、うち西牟婁管内は75団体（令和7年3月末）となっています。

◆西牟婁管内協定締結企業・団体

締結年度	市町村	企業名
平成18年度	田辺市	紀南農業協同組合、 特定非営利活動法人市民活動フォーラム田辺
平成19年度	田辺市	田辺商工会議所
	白浜町	クオリティソフト株式会社
平成20年度	田辺市	大塔村商工会、中辺路町商工会、本宮町商工会
	白浜町	日置川町商工会
	すさみ町	すさみ町商工会
平成22年度	田辺市	株式会社双美商会、株式会社丸山組、 社会福祉法人やおき福祉会
平成23年度	田辺市	社会福祉法人ふたば福祉会、南紀みらい株式会社、 龍神観光株式会社
	白浜町	一般社団法人南紀州交流公社
	上富田町	社会福祉法人神愛会
平成26年度	上富田町	株式会社キイテック
平成27年度	田辺市	亀の井ホテル 紀伊田辺
	上富田町	株式会社マージネット

平成28年度	田辺市	中田食品株式会社、牟婁商工会
平成29年度	白浜町	白浜町商工会
	上富田町	上富田町商工会、プラム食品株式会社
平成30年度	田辺市	社会福祉法人田辺市社会福祉協議会、龍神村商工会
	白浜町	社会福祉法人白浜町社会福祉協議会
令和元年度	田辺市	会津保育所、一般財団法人龍神村開発公社、 学校法人日本聖公会田辺学園、 社会福祉法人田辺市社会福祉事業団、 社会福祉法人南紀のぞみ会、丸長食品加工株式会社
	白浜町	株式会社イクロス、株式会社白浜エンタープライズ、 社会福祉法人堅田保育園、社会福祉法人南紀白浜福祉会
	上富田町	社会福祉法人上富田町社会福祉協議会、有限会社アクセス
	すさみ町	社会福祉法人すさみ町社会福祉協議会、 社会福祉法人すさみ福祉会
令和2年度	田辺市	オフィスメイト株式会社、 特定非営利活動法人かたつむりの会、龍神自動車株式会社
	上富田町	学校法人聖ヨセフ学園
令和3年度	田辺市	株式会社蒲田嵩商店、テクノ富貴株式会社、 特定非営利活動法人はまゆう作業所
	上富田町	社会福祉法人和歌山県福祉事業団
令和4年度	田辺市	株式会社裏地工務店、株式会社タチバナ、株式会社モリカワ、 社会福祉法人上秋津福祉会、東新木材株式会社、 有限会社紀州うめまさ、有限会社大都環境サービス
	白浜町	社会福祉法人紀伊の郷
	上富田町	株式会社カナセ
令和5年度	田辺市	株式会社梅屋、株式会社初山、株式会社山長商店、 社会福祉法人中辺路白百合学園、東宝建設株式会社、 有限会社銀ちろ、和歌山電工株式会社、ワシン建設株式会社
	白浜町	一般社団法人み・ゆーじ、株式会社日置川みらい館、 社会福祉法人白浜コスモス福祉会、 有限会社昭和自動車整備工場
	上富田町	株式会社ヤマヨテクスタイル
令和6年度	田辺市	社会福祉法人熊野福祉会
	白浜町	一般社団法人南紀白浜観光協会
	上富田町	一般社団法人南紀ウエルネスツーリズム協議会

2. 県民相談

県民の皆様が日常生活で抱えておられる民事上の問題や、相続・離婚などの家族に関する問題、行政に関する困りごとや交通事故に関する相談をお受けするとともに、適切な相談窓口を紹介しています。（令和6年度相談件数：田辺・西牟婁管内116件／県全体1,820件）

なお、西牟婁総合庁舎では、県民生活課が県民からの様々な相談を受けるため移動県民相談（弁護士相談）を年3回実施しており、人権・県民グループでは受付や相談場所の確保等のサポートをしています。

3. 文化振興

地域の文化振興を図るため、県民や各市町に対し、県内外の文化事業を種々紹介し、啓発・広報しています。また、和歌山県美術展覧会及び和歌山県ジュニア美術展覧会（「県展」及び「ジュニア県展」）の地方展が毎年管内で開かれ、優れた作品を県民に紹介、鑑賞する場を設け、県民のさらなる創作意欲の向上と文化振興を図っています。

令和6年度の管内地方展は、「上富田展」を11月13日（水）～17日（日）に上富田文化会館で開催しました。

4. 交通安全対策

交通安全運動の推進について、市町及び各種団体などと連携しながら、春、夏、秋、年末の各期に交通安全運動期間を設け、事故防止キャンペーンを展開しています。

また、田辺警察署、白浜警察署、交通指導員会、交通安全協会、各機関、団体の協力を得て、交通事故防止の実践活動を行っています。

推進団体として、田辺周辺交通指導員会連絡協議会、交通事故をなくする西牟婁郡町民運動連絡協議会があります。



◆田辺周辺交通指導員会連絡協議会会員数

（令和7年4月1日現在）

	市町名	会員数(人)
管内	田辺市	112
	白浜町	29
	上富田町	19
	すさみ町	29
	小計	189
管外	みなべ町	73
	合計	262



【交通指導員新任者研修】

5. パスポート

各振興局(海草を除く)総務県民課において、旅券(パスポート)の申請受付、交付事務を行っています。令和6年のパスポート申請件数は、振興局の中では那賀振興局に次いで2番目に多い件数になっています。また、令和7年1月～5月の申請件数は752件で、昨年の同時期の申請件数から69件増加しています。電子申請の割合について、令和6年1月～12月は全体の8.2%に対し、令和7年1月～5月は全体の25.6%と増加傾向にあります。

◆旅券(パスポート)申請件数の推移

(件)

	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
西牟婁振興局	2,265	510	131	377	1,560	1,769
県全体	25,238	5,847	1,731	4,687	17,119	12,127

6. 西牟婁地方子ども会連絡会

本会は、田辺市子どもクラブ育成協議会及び西牟婁郡地域活動連絡協議会並びに西牟婁地方ジュニアリーダークラブ・ドルフィンの会員をもって構成されています。

主に「ドッジボール大会」やウォークラリー等を行う「アドベンチャー」などを通じて、田辺市・西牟婁郡のこどもたちが互いに交流を図っています。

さらに、中学生・高校生のジュニアリーダーの育成に力を注いでいます。ジュニアリーダーたちは、様々な行事に参加し、運営補助を行うとともに、自分たちで企画・運営を行っています。

◆令和6年度の主な事業

事業	日程	場所
西牟婁地方子ども会連絡会第27回ドッジボール大会	7月21日(日)	白浜町立総合体育館
ニュースポーツわいわい体験交流会	11月10日(日)	しらとり体育館
アドベンチャー2024	11月24日(日)	新庄総合公園



【ドッジボール大会】



【アドベンチャー2024】



【ニュースポーツわいわい体験交流会】

7. 西牟婁郡地域活動連絡協議会

西牟婁郡内の子どもクラブの連合体です。

各市町において、子どもクラブの活動が活発に行われていますが、本協議会は、主に西牟婁地方子ども会連絡会の事業などを通して活動しています。

なお、田辺市内の子どもクラブの連合体は、田辺市子どもクラブ育成協議会となります。

◆西牟婁管内の子どもクラブの数と加入者数（令和7年4月1日現在）

市町名	子どもクラブ	
	クラブ数	人数(人)
白浜町	10	215
上富田町	14	325
すさみ町	5	98
(郡計)	29	638
田辺市	60	1,259
合 計	89	1,897

8. 青少年対策

（１）西牟婁地方青少年対策本部

西牟婁地方青少年対策本部は、「夏のこどもを守る運動」期間中、庁舎内へのぼりの設置や広報車による啓発活動を実施しています。

また、学校・警察・青少年センター連絡協議会の会議に参加し、青少年を取り巻く現状についての共有や、街頭啓発や祭りの巡視などを行うことで、青少年の非行防止に努めています。

（２）西牟婁地方青少年育成市町民会議連絡協議会

本協議会は、青少年の健全育成のため、少年メッセージ西牟婁地方発表審査会や西牟婁地方木の国わかやま木育学校の取組を実施しています。少年メッセージとは、管内の中学生が日常生活で得た自分の考えや将来の夢を作文で表現した作品です。令和6年6月12日に、西牟婁地方発表審査会を行い、この審査会で選ばれた4作品について、県大会に出場し、発表しました。

また、令和6年10月11日に「西牟婁地方 木の国わかやま木育学校」を開催しました。

◆西牟婁地方の少年メッセージ 参加状況

年度 校数、人数	R 4	R 5	R 6
参加校数（校）	10	13	14
参加人数（人）	1079	1034	1022



【少年メッセージ】

◆西牟婁地方木の国わかやま木育学校 参加状況

年度 参加者	R 4	R 5	R 6
児童（人）	60	47	32
保護者（人）	54	47	32
合計（人）	114	94	64

※令和5年度までは、「体験の風をおこそう」運動推進事業として実施



【西牟婁地方木の国わかやま木育学校】

9. 男女共同参画

すべての人が職場で、学校で、家庭で、地域で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現することは、これからの社会を形成していく上で最も重要なことです。

県では、誰もがジェンダーにかかわらず多様な生き方ができる社会を実現するため、様々な取組を行っています。

(1) 男女共同参画週間（6月23日～29日）

令和6年度は、下記のとおり啓発活動を行いました。

実施日	実施場所
6月26日	株式会社オークワ パビリオンシティ田辺店
6月28日	J R紀伊田辺駅前

(2) 女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）

令和6年度は、下記のとおり啓発活動を行いました。

実施日	実施場所
11月12日	J R紀伊田辺駅前
11月14日	株式会社オークワ パビリオンシティ田辺店

(3) 女性活躍企業同盟

平成29年度から女性の継続就業やキャリア形成に率先して取り組む企業及び団体を「女性活躍企業同盟」として組織化し、同盟参加企業等間の交流を通じて取組の充実を図ることで、女性が活躍できる環境整備を促進することを目的に参加企業等を募集しています。

県内の参加企業・団体等数は968団体で、うち西牟婁管内は144団体（令和7年3月末）となっています。

◆西牟婁管内同盟参加企業・団体

加入年度	市町村	企業名
平成29年度	田辺市	オフィスメイト株式会社、株式会社第一テック、株式会社日本政策金融公庫田辺支店、紀南農業協同組合、社会福祉法人大塔あすなろ会、田辺市、田辺ダイハツ販売株式会社、中田食品株式会社
	白浜町	公益財団法人白浜医療福祉財団白浜はまゆう病院、白浜町、福原ニードル株式会社
	上富田町	株式会社NTN紀南製作所、株式会社ヤマヨテクスタイル、上富田町、社会福祉法人上富田町社会福祉協議会、社会福祉法人和歌山県福祉事業団
	すさみ町	すさみ町
平成30年度	田辺市	大塔村商工会、株式会社たかす、社会福祉法人田辺市社会福祉協議会、社会福祉法人南紀のぞみ会、田辺商工会議所、特定非営利活動法人ハートツリー、中辺路町商工会、本宮町商工会、牟婁商工会、龍神村商工会
	白浜町	クオリティソフト株式会社、白浜ガス株式会社、白浜第一交通株式会社、白浜町商工会、日置川町商工会

	上富田町	株式会社マージネット、上富田町商工会、 社会福祉法人神愛会
	すさみ町	すさみ町商工会
令和元年度	田辺市	会津保育所、一般財団法人龍神村開発公社、 一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー、 学校法人日本聖公会田辺学園シオン幼稚園、 学校法人めぐみ学園、株式会社共栄建設工業、 株式会社ソイフ、株式会社丸山組、 公益社団法人龍神観光協会、公立紀南病院組合、 社会福祉法人田辺市社会福祉事業団、 社会福祉法人浜木綿会、田辺観光協会、テクノ富貴株式会社、 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター、 丸長食品加工株式会社
	白浜町	株式会社アワーズ、株式会社イクロス パル白浜、 株式会社白浜エンタープライズ INFINITO HOTEL&SPA NANKI-SHIRAHAMA、 紀南地方児童福祉施設組合、紀南地方老人福祉施設組合、 社会福祉法人堅田保育園、 社会福祉法人白浜町社会福祉協議会、 社会福祉法人南紀白浜福祉会、日置川開発株式会社
	上富田町	有限会社アクセス
	すさみ町	社会福祉法人すさみ町社会福祉協議会、 社会福祉法人すさみ福祉会
令和2年度	田辺市	株式会社伊藤組、株式会社サンコーテック、株式会社仲建設、 株式会社堀組、社会福祉法人ふたば福祉会、 社会福祉法人やおき福祉会、菅根測量株式会社、 第一生命保険株式会社和歌山支社田辺営業オフィス、 本宮町森林組合、龍神観光株式会社、龍神自動車株式会社
	白浜町	株式会社きらり福祉会
	上富田町	学校法人聖ヨセフ学園岩田幼稚園
令和3年度	田辺市	株式会社尾花組、株式会社蒲田嵩商店、 こくみん共済 coop 和歌山推進本部田辺支所、 特定非営利活動法人はまゆう作業所、 日本郵便株式会社請川郵便局、 日本郵便株式会社大塔郵便局、 日本郵便株式会社上秋津郵便局、 日本郵便株式会社上山路郵便局、 日本郵便株式会社上芳養郵便局、 日本郵便株式会社下山路郵便局、 日本郵便株式会社田辺朝日ヶ丘郵便局、 日本郵便株式会社田辺江川郵便局、 日本郵便株式会社田辺駅前郵便局、 日本郵便株式会社田辺神島台郵便局、 日本郵便株式会社田辺新庄郵便局、

		日本郵便株式会社田辺芳養郵便局、 日本郵便株式会社田辺神子浜郵便局、 日本郵便株式会社田辺湊郵便局、 日本郵便株式会社田辺目良郵便局、 日本郵便株式会社近露郵便局、 日本郵便株式会社中山路郵便局、 日本郵便株式会社中辺路郵便局、 日本郵便株式会社萩郵便局、日本郵便株式会社平瀬郵便局、 日本郵便株式会社二川郵便局、 日本郵便株式会社本宮郵便局、 日本郵便株式会社三川郵便局、 日本郵便株式会社三栖郵便局、 日本郵便株式会社湯峰郵便局、日本郵便株式会社龍神郵便局
	白浜町	一般財団法人和歌山県教育互助会白浜保養施設牟婁辺、 日本郵便株式会社安居郵便局、 日本郵便株式会社市鹿野郵便局、 日本郵便株式会社白浜駅前郵便局、 日本郵便株式会社白浜温泉郵便局、 日本郵便株式会社白浜郵便局、日本郵便株式会社椿郵便局、 日本郵便株式会社富田郵便局、日本郵便株式会社日置川郵便局
	上富田町	日本郵便株式会社岩田郵便局、 日本郵便株式会社上富田郵便局
	すさみ町	日本郵便株式会社江住郵便局、 日本郵便株式会社佐本郵便局、 日本郵便株式会社すさみ郵便局
令和4年度	田辺市	株式会社裏地工務店、株式会社初山、株式会社モリカワ、 社会福祉法人上秋津福祉会、南紀みらい株式会社、 BANKAN 田辺店、有限会社紀州うめまさ
	白浜町	社会福祉法人紀伊の郷、社会福祉法人白浜コスモス福祉会、 白浜温泉旅館協同組合
令和5年度	田辺市	株式会社梅屋、社会福祉法人紀成福祉会、 社会福祉法人熊野福祉会、
	白浜町	一般社団法人み・ゆーじ、株式会社日置川みらい館
	上富田町	アンドワーカー協同組合、株式会社ぷらすわん
令和6年度	田辺市	株式会社クレアネット、株式会社山長商店、 特定非営利活動法人市民活動フォーラム田辺
	白浜町	一般社団法人南紀白浜観光協会
	上富田町	一般社団法人南紀ウエルネスツーリズム協議会
	すさみ町	一般社団法人すさみ町観光協会

《パートナーシップ宣言制度》

一方又は双方が性的少数者であるお二人が、互いを人生のパートナーとし、日常の生活において相互に協力しあうことを約束する宣誓を行った方々に、県が宣誓したことを証明する「パートナーシップ宣誓証明書受領証」を交付する制度を、令和6年2月から開始しています。

■地域づくり課

○地域振興・防災グループ

1. 地域振興

本県は、海、山、川などの豊かな自然と世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される貴重な歴史文化、さらに多彩な食材や温泉にも恵まれ、古くから観光地として多くの観光客に親しまれてきました。

このような優れた歴史・文化資産や豊かな自然環境を、県民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら次世代へ大切に引き継いでいくとともに、地域資源や新たな観光資源を掘り起こし磨くことで、県勢発展に向け活用することを推進しています。そのため、県では、地域づくり等地域振興につながる様々な事業を実施しています。また過疎集落における生活機能の維持や活性化、移住・定住や二地域居住による人の流れを創出することで、活性化につなげる取組も実施しています。

(1) 地域づくり等地域振興対策

I 和歌山県振興局地域づくり支援事業

地域の資源や特色を生かした個性豊かで活力ある地域づくりを推進するため、西牟婁振興局管内（田辺市、白浜町、上富田町、すさみ町）において、以下に掲げる市町村や民間団体等が行う地域づくりの取組を支援しています。

<補助対象事業>

補助対象事業	内 容
地域文化育成事業	地域伝統文化の保存・継承並びに新しい文化の創出・定着事業
地域資源活用事業	自然・歴史・文化等の地域固有の資源を活用した、個性的で魅力のある地域づくり活動や、地域外への情報発信等を行う事業
地域交流事業	交流人口の増加を図るためのイベントや住民参加型イベントを実施する事業
U J I ターン促進事業	若者のU J I ターンを促進するための事業
地域情報化推進事業	地域住民を対象とした情報化推進事業
ひとづくり推進事業	地域づくりリーダーの養成や観光語り部の育成などの人材育成事業
観光振興事業※	観光地の魅力アップや観光客の利便性向上につながる事業
住民福祉の増進や地域の活性化等地域振興を図るために知事が特に必要と認める事業	左記のとおり

※令和6年度で「やる気観光地魅力アップ協働事業補助金」が事業廃止となり、令和7年度から当該事業の補助対象事業に「観光振興事業」が追加されました。

<補助率>

1／2以内

<補助上限額>

予算の範囲内

<補助金交付実績>

◆令和6年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
ビーチライフ in 田辺扇ヶ浜実行委員会	ビーチライフ in 田辺扇ヶ浜開催事業	田辺市扇ヶ浜の認知度向上及び周遊観光促進などを目的として、ビーチを活用した体験型イベント「ビーチライフ」を開催した。	4,000 千円	700 千円
龍の里づくり委員会	幻の熊野古道「奥辺路」復活プロジェクト	奥辺路を安心して楽しめる道として復活させるため、道普請の実施やマップの整備に取り組んだ。	505 千円	250 千円
わかやま 12 湯推進協議会	第4回 わかやま 12 湯サミット in 熊野本宮大社	世界遺産登録20周年の節目の年に熊野本宮大社を舞台に講演会を実施し、和歌山県の温泉の素晴らしさを発信した。	865 千円	432 千円
ひきがわ歴史クラブ	日置川地域における文化財保存活用継承事業	会員を対象とした研修会や地域住民を対象としたウォークイベントを実施し、日置川地域の文化財の保全及び魅力を発信した。	483 千円	235 千円
(一社)すさみキャンパス	A L Lすさみで本格的に取り組む「すさみの魅力発信」事業	すさみ町の魅力を発信するため、都市圏等において、すさみ町の生業を伝える「すさみ生活美術展」やふるさと納税品のPRなどを実施した。	1,359 千円	665 千円
田辺観光協会	世界遺産登録 20 周年記念特別ウォークイベント事業	田辺観光ボランティアガイドの会の協力のもと、世界遺産登録20周年記念として特別版ウォークイベントを全3回実施した。	940 千円	334 千円
紀南 AD 研究会	ワークショップ 「あそび心が世界を変える！」	親世代を対象とした、こどもとのコミュニケーション指導に関して著名な講師を招き、参加者が主体的に参加できるワークショップを実施し、実際の遊びを通して、こどもとのコミュニケーション方法について理解を深めた。	137 千円	68 千円

◆令和5年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
川添祭り Again 2023 実行委員会	川添祭り Again2023	平成28年度まで実施されていた川添祭りを復活させ、伝統芸能の披露や工芸品、飲食ブースの出展などを実施することで川添地区及び日置川流域一体の魅力を発信した。	802 千円	338 千円
すさみ町	スサミガールズフィッシングスクール vol. 0	すさみ町の関係人口創出のため、女性を対象にした釣り教室や教室参加者による未利用魚活用に関する情報発信に取り組んだ。	2,175 千円	676 千円
龍神植田杯争奪・高校生バレーボール大会実行委員会	龍神植田杯争奪・高校生バレーボール大会	田辺市及び周辺地域の交流人口増加を目的として、元バレーボール全日本男子代表監督である植田辰哉氏がその人脈を生かし、全国の男子高校バレーボール部を招聘し、地元高校との交流試合等を行った。	567 千円	283 千円
田辺商工会議所	happy プロジェクト～結～	結婚希望者に対して結婚相手を見つける出会いの場を提供する支援事業を実施した。	818 千円	406 千円
Nanki Shirahama NFT Festival 実行委員会	NFT 普及プロジェクト・地域創生事業	Web3 の先進地として白浜町を PR するため、クリエイターによるブース出展など Nanki Shirahama NFT Festival を実施した。	1,100 千円	329 千円

◆令和4年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
近野もてなし力向上委員会	水辺の交流もてなしプロジェクト	中辺路町近露地域の交流人口創出のため、鮎の友釣り体験教室を開催するとともに、教室の指導者育成に取り組んだ。	788 千円	352 千円
紀南アーバンスポーツ普及協議会	紀南スケートボード・BMX 体験交流会	田辺市扇ヶ浜スケートパークの周知及び競技の普及を目的として、子供から大人までを対象とした競技体験交流会とプロスケートボーダー・プロライダーによるショーを実施した。	2,266 千円	902 千円
すさみ線香水車たまぐすの会	水力でにぎわい創出！すさみ水車塾プロジェクト	すさみ町の魅力や線香水車の文化的価値を広く発信するため、「すさみ線香水車」の組立てワークショップや大学教授による講演会を実施した。	921 千円	460 千円
魅力発見！海南を撮りたい会	映画「紀州騎士～きしゅうでないとぉ！～」誰一人取り残さない社会を目指す！和歌山の大自然で未来を語るワークショップ	西牟婁地域の交流人口増加及び魅力発信を目的として、映画のロケ地である田辺市等で映画出演者による講演会及びCM制作ワークショップを実施した。	1,521 千円	643 千円

※令和4年度及び令和5年度については、前身の「地域・ひと・まちづくり補助金」の交付実績

Ⅱ わがまち元気プロジェクト支援事業

総合的な地域の活性化につなげるため、地域の資源を活用し農林漁業の振興や観光の振興等、さまざまな取組を組み合わせることで活性化事業に取り組む市町村等を支援しています。

なお、令和6年度から新たな事業の採択は終了したため、令和7年度までの補助となります。

＜補助対象事業＞

先進事例調査及び研究・開発等プロジェクトの立ち上げ並びにPRの取組等であって、県の他の補助事業では対応が困難なソフト事業

＜補助期間＞

3年間

＜補助上限額＞

5,000千円または全体事業費の1/3のいずれか低い額

＜補助金交付実績＞

◆令和6年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
紀南エリアサイクルツーリズム協議会	～自転車で熊野を一周～『クマイチ KUMAICHI』プロジェクト	「クマイチ」及びその魅力の発信並びに自転車で周遊するツーリズムの確立のため、合宿用スポーツサイクリングのコース設計や自転車フェスティバルへの出展等を行った。	3,934 千円	1,000 千円
梅酒ツーリズム事業実行委員会	紀州田辺を梅酒の聖地に！梅酒ツーリズムプロジェクト	梅酒をテーマとしたツーリズム及び観光コンテンツの造成を目的として、梅酒テラスを活用したツアーの造成やインバウンド向けのモニタリングを実施した。	24,391 千円	1,000 千円

◆令和5年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
紀南エリアサイクルツーリズム協議会	～自転車で熊野を一周～『クマイチ KUMAICHI』プロジェクト	「クマイチ」及びその魅力の発信並びに自転車で周遊するツーリズムの確立のため、クマイチ・スタンプラリーのツール制作や自転車フェスティバルへの出展等を行った。	12,544 千円	3,000 千円
梅酒ツーリズム事業実行委員会	紀州田辺を梅酒の聖地に！梅酒ツーリズムプロジェクト	梅酒をテーマとしたツーリズム及び観光コンテンツの造成を目的として、梅酒フェスティバルや紀州梅酒まつり等を開催した。	18,260 千円	3,000 千円

◆令和4年度

採択なし

Ⅲ 未来を彩る花の森づくり事業

未来の景観資産となる花の名所を創造することにより地域活性化を図る団体等が行う以下に掲げる取組を支援しています。

なお、令和6年度から新たな事業の採択は終了しています。

＜補助対象事業＞

補助対象事業	内 容
植栽事業	多くの人々が訪れるような眺望を創り、景観資産となる樹木を植栽する事業
環境整備事業	来訪者の増加を目的とした環境を整備する事業
交流推進事業	樹木に愛着を持ち、継続的に育成管理に関与することを目的としたイベントを実施する事業

＜補助率＞

10／10

＜補助上限額＞

なし

＜補助金交付実績＞

◆令和6年度

団体名	実施事業	事業内容	事業費	補助金額
龍神温泉の森をつくる会	植樹事業	地域の景観向上のため、龍神温泉周辺地にクマノザクラ 1,970 本と観賞植物 585 本を植樹した。	9,868 千円	9,868 千円

◆令和5年度

団体名	実施事業	事業内容	事業費	補助金額
龍神温泉の森をつくる会	植樹事業 交流推進事業	地域の景観向上及び地域との交流推進を目的として、龍神温泉周辺地にクマノザクラ 1,530 本、観賞植物 1,022 本の植樹と地域住民を交えた植樹会を開催した。	9,669 千円	9,647 千円

◆令和4年度

団体名	実施事業	事業内容	事業費	補助金額
龍神温泉の森をつくる会	植樹事業 交流推進事業	地域の景観向上及び地域との交流推進を目的として、龍神温泉周辺地にクマノザクラ700本の植樹と地元小中学校でクマノザクラ授業の実施、地域住民を交えた植樹会を開催した。	5,925 千円	5,893 千円

IV 振興局地域課題解決促進事業

個性豊かで活力ある地域づくりを推進することを目的とし、各振興局が市町村や地域住民と密接に関わる中でそれぞれの地域課題を把握し、解決に向けた独自の事業を振興局自らが実施します。

<令和7年度の取組>

◆教育旅行の聖地化に向けた受入体制の強化

- ・教育旅行の需要増加に対する受入体制の強化を目的とし、民泊の受け入れ家庭数増加のため、教育民泊研修会、お試し民泊家庭の環境整備、地元学生のお試し民泊を実施

◆万博を契機とした熊野古道大辺路への誘客促進

- ・熊野古道大辺路の情報発信および誘客促進を目的とし、公共交通機関と徒歩のみで熊野古道大辺路を満喫できるモデルコースの作成とインフルエンサーによる情報発信を行うとともに、デジタルスタンプラリーを実施

V 地域おこし協力隊

持続可能な地域づくり・地域活性化のため、市町村単独の地域支援活動に加え、広域的観点から各エリアの課題に対処する人的体制の強化が必要であり、県内7つのエリアそれぞれの地域課題解決と一緒に取り組んでもらう人材として、地域おこし協力隊が活動しています。西牟婁振興局では、自転車で紀南地方を周遊するツーリズムを確立することで、和歌山県への国内外からの交流人口の増加や地域経済の活性化を図ることを主な地域課題とし、地域おこし協力隊、関係市町・団体と連携して課題解決に取り組んでいます。

<県（西牟婁振興局）地域おこし協力隊の概要>

隊員名	採用年月	略歴
唐見 実世子	令和6年12月	広島県出身。中京女子大学体育学部卒業。 全日本選手権大会など国内で多くのタイトルを獲得。 平成11年アジア選手権3位、平成16年にはアテネ五輪出場（41位）引退後は（株）あさひに入社、実業団チームのコーチとなる。

<西牟婁振興局管内の地域おこし協力隊員数（令和7年4月1日現在）>

市町名	田辺市	白浜町	上富田町	すさみ町	計
隊員数	4名	6名	1名	2名	13名

（2）過疎集落の活性化対策

過疎地域等では高齢化等により、集落機能の維持や存続が危ぶまれる集落が増加しているため、過疎集落等の維持及び活性化を図ることを目的として、個別の集落や市町村全体ではなく住民生活の一体性を重視した「ふるさと生活圏」単位で住民の主体性を活かした以下に掲げる取組を支援しています。

I 過疎集落再生・活性化支援事業

■スタートアップ支援型

<補助対象事業>

補助対象事業	内 容
外部講師派遣	過疎集落再生・活性化支援事業を実施するにあたり、ワークショップ等を通じて外部講師に助言を求めることにより、持続性や質が高いものとするための取組
先進地視察	目的達成に資する効果的な手法を用いるため、先進地の視察を行う取組
事前調査	地域の課題の現状を詳細に把握するための取組

<補助率>

10／10

<補助上限額>

1,000千円

■過疎集落再生・活性化支援型

<補助対象事業>

補助対象事業	内 容
活動拠点の整備	ふるさと生活圏の再生・活性化に資する活動拠点を整備するために行う既存施設の内外装の改修及び設備の整備並びに耐震補強工事等
医療・福祉対策	医療健康相談やリハビリの実施など、地域に密着した医療・福祉施策などの取組
生活必需品の確保	必要な時に必要なものが容易に入手できるよう、物品販売や移動販売の促進などの取組
生活交通の確保	公共空白地域を解消するための、公共交通空白地有償運送などの取組
地域産業の育成	独自資源の活用による産業おこしや伝統文化を活かした地域の取組
移住・交流の推進	地域への移住促進及び交流人口増加のために行う移住体験事業や交流事業などの取組

<補助率>

① 活動拠点の整備 1／2

② ①以外の事業 10／10

<補助上限額>

5,000千円

<補助金交付実績>

◆令和6年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
龍の里づくり委員会	「龍のむら」活性化プロジェクト～人がつながり、地域が光る～	過疎地「龍神村」の活性化のため、交流拠点施設の改修、飲食店ステッカーラリー、特産品を活かした新しい魅力フードの開発を実施した。	9,317千円	5,000千円
輝け三川	輝け三川地域活性化事業	過疎地「三川地域」の活性化のため、交流拠点施設の改修、ワインブドウ栽培体験、耕作放棄地美化推進事業を実施した。	5,043千円	5,000千円

◆令和5年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
龍の里づくり委員会	「龍のむら」活性化プロジェクト～人がつながり、地域が光る～	過疎地「龍神村」の活性化のため、地域課題検討会、交流拠点施設の改修デザイン作成、情報発信ツールの製作を実施した。	2,575 千円	2,500 千円

◆令和4年度

採択なし

(3) 移住・定住交流推進対策

移住・定住や二地域居住の推進を図るため、市町村等と連携しながら、地域の魅力発信を行うとともに、移住希望者等に対する空き家の状況調査や家財処分、改修の支援、起業や農林水産業への就業の支援など移住後の生活支援を行うことにより、更に移住・定住を推進します。

I 西牟婁振興局管内の移住者数

移住定住施策に必要な基礎資料を得るため、各市町村住民担当課窓口において転入者を対象にアンケート調査を随時実施。

令和6年度	田辺市	白浜町	上富田町	すさみ町	西牟婁管内計	県内計
アンケート回答数	227 件	71 件	111 件	31 件	440 件	3,997 件
移住者数 (※)	85 人	55 人	22 人	31 人	193 人	1,643 人

※移住者数：アンケートにおいて5年以上定住の意思があると回答した県外からの転入者数。

なお、家族での移住など、アンケート1件につき複数の移住者が含まれる場合があります。

II 移住支援関連補助事業

補助金名		補助事業内容	補助上限額 (補助率)	補助件数		
				R6	R5	R4
移住推進空き家活用事業補助金	片付け事業	移住者が居住するために必要となる対象空き家の片付け（家財整理・撤去・処分活動）	80 千円 (10/10)	7 件	4 件	4 件
	改修事業	移住者が居住を目的として、生活するために必要な機能の一般的な改修・リフォーム	1,000 千円 (1/2)	12 件	9 件	15 件
既存住宅状況調査補助金		県内に所在する空き家を対象とした建物の構造耐力上主要な部分等の劣化・不具合の状況を把握するための調査	50 千円 (1/2)	13 件	18 件	5 件
移住者農林水産就業補助金		移住者が農林水産業に必要な設備等を整え県内で就業する事業	500 千円 (10/10)	1 件	1 件	1 件
移住者起業補助金		わかやま地域課題解決型起業支援補助金の採択を受けた移住者に対する上乗せ補助	1,000 千円 (1/2)	2 件	3 件	1 件

※移住者農林水産就業補助金と移住者起業補助金は令和6年度で終了

(4) まちづくりの推進・支援

I まちの賑わい空間創出プロジェクト

駅前や観光地などのエリアが魅力にあふれ、住みやすさと生活の楽しさを実感できる「まちの賑わい空間」を創出していくため、まちづくりの機運醸成や住民等による検討組織の構築支援を実施することで、官民が連携してまちづくりに取り組む体制を整えます。

また、官民連携の「まちづくり組織」が国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業などを活用し、「まちの賑わい空間」の創出に取り組むことを目指します。

■アドバイザー派遣事業

行政や地域住民、地権者、まちづくり団体、商店街組合、商工会議所等の多様な関係者で構成された、まちづくり検討組織の立ち上げを支援するため、地域の良さを活かし、関係人口の創出や地域経済の活性化に繋がる継続的なまちづくりに取り組む意向がある団体に対して、アドバイザーを派遣します。

<アドバイザー派遣実績>

年度	派遣先	アドバイザー	支援内容
令和6年度	すさみ町	合同会社オフィスキャンプ 坂本 大祐 氏	派遣日：令和7年2月7日、8日 JR 周参見駅周辺のまち歩き及び交流拠点の視察を実施するとともに、駅周辺のまちづくりについて勉強会を実施。

II 地域の賑わいづくり整備支援事業

人口減少が深刻化する中、住民が安心して暮らし続けられる魅力ある地域をつくるため、地域内外の人々が集い交流できる「賑わい拠点」や、個性あふれる地域の賑わいづくりに必要な施設等を整備し、地域コミュニティの活性化や交流人口の拡大を図ります。

■地域の賑わいづくり整備支援補助金

<補助対象事業>

	内 容	補助対象経費
(1)	既にエリア的に拠点となりつつある地域における、地域内外の多種多様な人同士の交流により、多様な価値観の醸成、新たな事業の発生、地域への愛着の増進などの効果が期待できる地域の賑わいを創出する拠点施設整備事業	下記の整備に要する経費 ・駅舎の改修 ・空き家等の遊休施設の改修 ・その他県が必要と認めるもの
(2)	和歌山県観光振興実施行動計画等の県の施策方向と一致しており、単なる施設の利便性向上ではなく、効果において面的な広がりが見込まれる事業	下記の整備に要する経費 ・多言語案内表示 ・観光公衆トイレ ・公衆 Wi-Fi 整備 ・その他県が必要と認めるもの

※令和6年度で「観光施設整備補助金」が事業廃止となり、令和7年度から当該事業の補助対象事業に上記表(2)が追加されました。

<補助率>

1／2以内

<補助上限額>

上記補助対象事業(1) 5,000千円

上記補助対象事業(2) 3,000千円

<補助金交付実績>

◆令和6年度

市町名	整備メニュー	補助事業名	事業費	補助金額
田辺市	多言語案内表示	田辺市観光施設整備事業（熊野古道周辺の受入環境整備）	2,800 千円	1,400 千円
白浜町	観光公衆トイレ	川添公衆便所整備工事	24,126 千円	2,000 千円

◆令和5年度

市町名	整備メニュー	補助事業名	事業費	補助金額
田辺市	多言語案内表示・観光公衆トイレ	田辺市観光施設整備事業（熊野古道周辺の受入環境整備）	7,248 千円 （内訳：多言語案内 3,309 千円、トイレ 3,939 千円）	3,620 千円 （内訳：多言語案内 1,654 千円、トイレ 1,966 千円）
上富田町	観光公衆トイレ	上富田スポーツセンター屋内イベント広場公衆トイレ改修事業	1,312 千円	656 千円
		上富田スポーツセンター多目的グラウンド公衆トイレ改修事業	1,312 千円	656 千円
		上富田スポーツセンター野球場公衆トイレ改修事業	3,606 千円	1,803 千円
		市ノ瀬若もの広場トイレ改修事業	18,992 千円	2,000 千円

◆令和4年度

市町名	整備メニュー	補助事業名	事業費	補助金額
田辺市	多言語案内表示・観光公衆トイレ	田辺市観光施設整備事業（熊野古道周辺の受入環境整備）	7,562 千円 （内訳：多言語案内 3,482 千円、トイレ 4,080 千円）	3,778 千円 （内訳：多言語案内 1,740 千円、トイレ 2,038 千円）
すさみ町	観光公衆トイレ	すさみ町観光案内所浄化槽整備事業	5,599 千円	2,000 千円

※令和4年度から令和6年度については「観光施設整備補助金」の交付実績

(5) 地域公共交通に関すること

持続可能な地域公共交通の確保など、事業者や市町と連携しながら鉄道、路線バス等の利用促進等に取り組んでいます。

具体的な取り組みとしては、紀勢本線の白浜～新宮区間の利用促進のため、沿線市町村・県・JR西日本・和歌山大学による「紀勢本線活性化促進協議会新宮白浜区間部会」を令和4年度に設け、協議を年3～4回行っています。また、こどもたちの公共交通の利用を促すため、小学校で公共交通機関に関する授業として「地域公共交通教室」を実施、さらに鉄道またはバス事業者と協力し、体験学習も行っています。

<地域公共交通教室開催実績>

年度	開催校	対象学年	協力事業者	実施日
令和6年度	田辺市立鮎川小学校	1、2年生	龍神自動車(株)	令和7年1月24日
	白浜町立西富田小学校	1年生	明光バス(株)	令和7年1月28日

※令和6年度から振興局職員が講師として授業を実施

(地域公共交通教室の様子)



(6) こども食堂

こどもの健やかな成長の促進を図るために、食事の提供を通じてこどもの居場所や地域における交流拠点としての機能が期待される場所を提供する団体について、こども食堂の取組・開設・運営を支援しています。

I 和歌山こども食堂支援事業

<補助対象事業>

対象	補助内容
新規開設	- こども食堂開設にあたっての設備及び備品購入費または設備改修費 - 食品衛生責任者養成講習会受講費 - 学習支援に要する参考書や備品等の購入費 - 多様な世代との交流に要する備品類の購入費
既存施設	- 学習支援に要する参考書や備品等の購入費 - 多様な世代との交流に要する備品類の購入費

<補助率>

- ① 新規開設 10/10
- ② 既存施設 1/2

<補助上限額>

- ① 新規開設 600千円
- ② 既存施設 100千円

<補助金交付実績>

◆令和6年度

団体名	新規・既存 の別	補助内容	事業費	補助金額
にこにこの会	新規	設備・備品購入	261 千円	252 千円
森と畑のようちえん わのうた	新規	設備・備品購入、学習支援、多 様な世代との交流	541 千円	540 千円
子ども食堂 月と木食堂	新規	設備・備品購入、学習支援、多 様な世代との交流	493 千円	492 千円
子ども食堂 やままる	新規	設備・備品購入	410 千円	400 千円

◆令和5年度

団体名	新規・既存 の別	補助内容	事業費	補助金額
熊野うたまのまほらま	新規	設備・備品購入、学習支援、多 様な世代との交流	522 千円	521 千円
南紀白浜こども食堂	新規	設備・備品購入	412 千円	400 千円
のこのこ食堂	新規	設備・備品購入、学習支援、多 様な世代との交流	472 千円	472 千円

◆令和4年度

採択なし

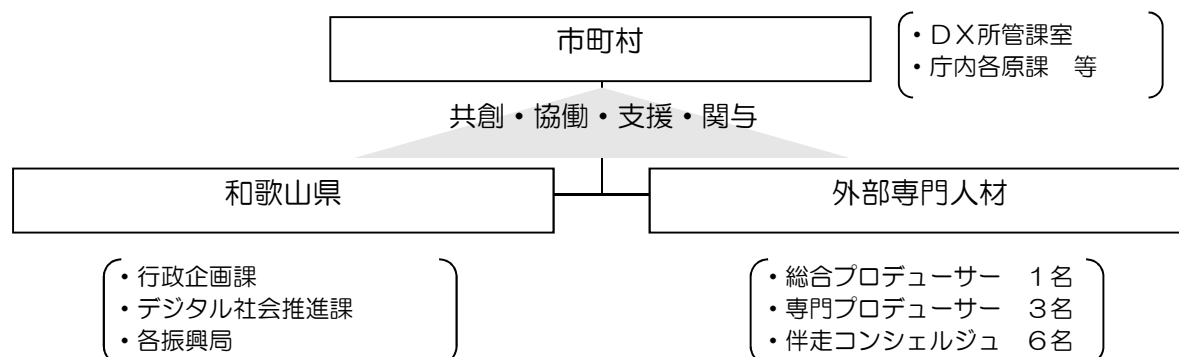
Ⅱ 和歌山県こども食堂応援ネットワーク

こども食堂の取組・開設・運営をサポートするため、和歌山県こども食堂応援ネットワーク（事務局：和歌山県社会福祉協議会）を立ち上げ、相談支援、情報提供、支援物資の配分・マッチング、コーディネーター派遣、交流会等の開催に取り組んでいます。

（7）行政 DX の推進

DX 推進に係る市町村職員の認識共有・機運醸成を図り、現状把握と課題整理を行う場として、県が委託している DX 専門アドバイザーとともに月1回のよろず相談を自治体ごとにオンラインで実施しています。よろず相談以外にも、slack を利用し、チャットツールで常時専門アドバイザーと相談できるほか、迅速に情報共有が行える場を設け、市町の自立的取組を促進しています。

<取組のイメージ>



（８）脱炭素の推進

令和５年８月に県庁が一体となって脱炭素に取り組み、市町村の取組を支援するため、「脱炭素庁内連絡会議」を設置。県として、2030年における目標（▲46%）を達成し、更には2050年カーボンニュートラル実現に向けて、重点対策加速化事業計画（※）を策定し、実施に向け取り組んでいます。また、市町村への伴走支援として地方公共団体実行計画（事務事業編）の策定や国支援策の採択に向けた説明会などを行っています。

※事業計画の特徴

- ① 和歌山県内で脱炭素の取組が進んでいない現状を踏まえ、まずは県が個人向け太陽光・蓄電池・省エネ機器の導入補助事業を実施し、ノウハウを蓄積。その後、県が市町村に対して補助要綱の作成支援や成功事例等のノウハウの提供を実施し、市町村を通じた補助事業へと移行することにより、各市町村における脱炭素の基盤構築につなげる。
- ② 県が太陽光発電設備等の購入を希望する住民を募集し、一括発注することで価格低減を促す共同購入事業を実施。
- ③ 県内企業が実施するCO2排出量の見える化から削減計画策定までに要する経費の一部に対して単独補助を実施。

２．防災

本県は、地形的・気象的な特性ゆえに、度重なる災害を経験し、多くの尊い人命を失ってきました。物的被害は元に戻すことはできても、失われた命は戻すことはありません。何よりも守らなければならないのは人命であり、「災害による犠牲者ゼロ」を実現するための防災・減災対策を実施しています。さらに、市町村における防災体制・対策の充実強化を図るため、市町村が行う地域防災対策事業等に対し、支援しています。

（１）職員の防災体制

振興局管内の地方機関も含め、本庁に準じた防災体制をとっています。今年度の防災体制表は、次頁のとおりとなっています。

（２）防災研修・防災訓練

西牟婁振興局では、職員の防災体制構築のため、警戒体制等の発令時における当番業務の研修（防災当番部研修）、大規模地震等の災害発生時における支部の初動体制の確立のため行う職員研修（振興局職員防災研修）、国からの応援を受け入れる広域防災拠点の受援体制や運営に係る業務の研修（広域防災拠点要員研修）を実施しています。

また、振興局内各部の災害対応力向上を目的として、毎年度、発災直後の支部の立ち上げに至る連携、運営訓練（図上訓練）をロールプレイング方式により実施しています。

県職員の防災体制表（西牟婁管内）

（令和7年度版） R7. 4. 1～R8. 3. 31

☆職員の警戒及び配備体制等発令の基準

（注）各機関連絡網または職員参集メールにより体制発令の連絡があるが、下線部は連絡を待つことなく、各事象の発生を覚知した職員は自主参集すること。

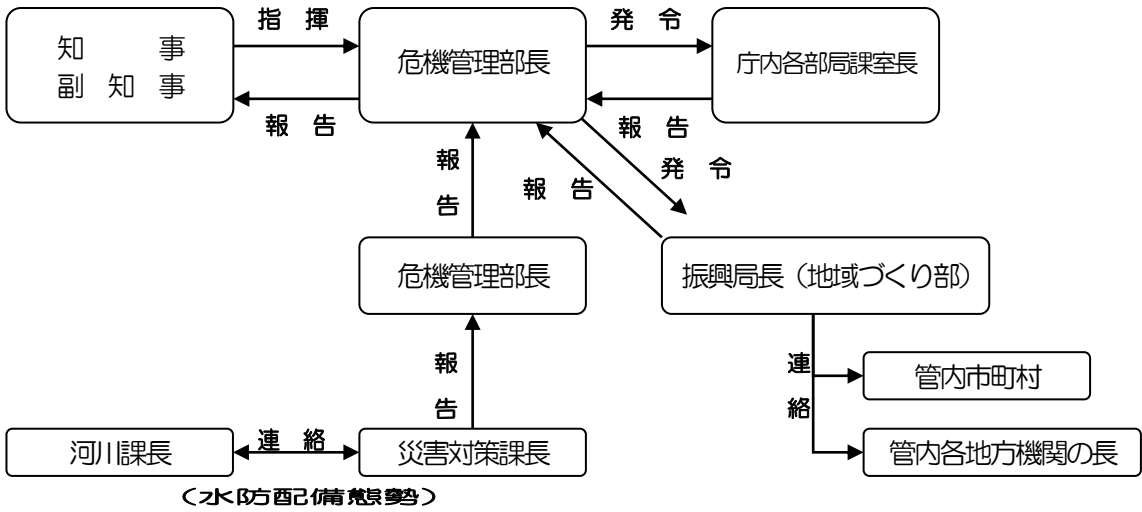
区 分	地震・津波	風水害等	西牟婁管内 動員配備人員
危機管理局による 情報収集体制	① <u>地震が発生し、県外で震度6弱以上を記録したとき。</u>	① <u>波浪警報など、警戒体制及び配備体制の発令基準に該当しない警報が発表されたとき。</u> ② 「線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ」が県内に発表されたとき。	
警戒体制	① <u>地震が発生し、管内で震度4を記録したとき。</u> ② <u>和歌山県に津波注意報が発表されたとき。</u> ③ 危機管理部長が必要と認めたとき。	① <u>管内に大雨、洪水又は高潮のいずれかの警報が発表されたとき。</u> ② <u>田辺市・西牟婁郡を所管する建設部に水防配備態勢1号が発令されたとき。</u> ③ 危機管理部長が必要と認めたとき。（台風接近のため厳重な警戒が必要なとき。）	振興局及び各地方 機関の必要人数
配備体制	① 危機管理部長が必要と認めたとき。 （地震による重大な二次災害が発生するおそれがあると認められるとき。）	① <u>管内に暴風かつ大雨警報が発表されたとき。</u> ② <u>管内に高潮特別警報が発表されたとき。</u> ③ <u>田辺市・西牟婁郡を所管する建設部に水防配備態勢2号が発令されたとき。</u> ④ 「顕著な大雨に関する気象情報」が県内に発表されたとき。 ⑤ 危機管理部長が必要と認めたとき。（台風又は線状降水帯等により重大な災害が発生するおそれがあると認められるとき。）	同上
災害対策本部 非常体制1号	① <u>和歌山県に津波警報が発表されたとき。</u> ② <u>地震が発生し、県内で震度5弱又は5強を記録したとき。</u> ③ <u>リアルタイム地震・津波関連情報表示システムにより、津波からの避難を呼びかける緊急速報メールが配信されたとき。</u> ④ <u>南海トラフ地震臨時情報（調査中）が発表されたとき。</u> ⑤ 知事が必要と認めたとき。（災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用をしなければならないような災害が予想されるとき。）	① <u>管内に大雨、暴風、波浪、暴風雪又は大雪のいずれかの特別警報が発表されたとき。</u> ② <u>田辺市・西牟婁郡を所管する建設部に水防配備態勢3号が発令されたとき。</u> ③ 知事が必要と認めたとき。（災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用をしなければならないような災害が予想されるとき。）	同上
災害対策本部 非常体制2号	① <u>和歌山県に大津波警報が発表されたとき。</u> ② <u>地震が発生し、県内で震度6弱以上を記録したとき。</u> ③ <u>南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）又は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたとき。</u> ④ 知事が必要と認めたとき。	① <u>知事が必要と認めたとき。</u> 例 ・災害救助法の適用を必要とする災害が発生したとき。 ・大規模事故等が発生したとき。 ・その他の災害が発生したとき。	全職員 （初期）

☆職員の警戒及び配備体制等の担当機関（西牟婁）

（注）体制発令の基準となる事象がなくなった場合においても、発令を継続するものとし、危機管理官が体制の継続を不要と認めた時に発令を解除するものとします。

体制の種別	担当機関名（地震・津波）	担当機関名（風水害等）
警戒体制	地域づくり部、建設部	地域づくり部、建設部
配備体制	上記（警戒体制）を含め 健康福祉部、農林水産振興部、紀南児童相談所、田辺産業技術専門学院、 林業試験場、農林大学校林業研修部	上記（警戒体制）を含め 健康福祉部、農林水産振興部、紀南児童相談所、田辺産業技術専門学院、 林業試験場、農林大学校林業研修部
災害対策本部	1号	上記（配備体制）を含め 紀南県税事務所、畜産試験場、紀南家畜保健衛生所、 紀南教育事務所、教育センター学びの丘・紀南図書館
	2号	上記を含め 消費生活センター紀南支所、世界遺産センター、検査・技術支援課分室、すべての機関の全職員が参集する。

☆職員の警戒及び配備体制の指揮系統



職員の対応

災害対策は、誰かがやってくれるものではありません。一人ひとりの積み重ねが大きな力となって実現されるのです。

- ・県民の生命、身体及び財産を守るのは、職員一人ひとりの働きにかかっています。
- ・応急対策は、時間との勝負。あわてず、的確に処理しましょう。
- ・災害時に積極性を欠いた職員の行動は、大きな被害に結びつくおそれがあります。
- ・他の部局、外部の防災関係機関との連携を密にし、協力しあって災害対策にあたります。

(3) わかやま防災カパワーアップ補助事業

市町村における防災体制・対策の充実強化を図るため、市町村が大規模災害の被害を軽減するため策定する地震防災対策に係る計画の減災目標を達成するために行う以下に掲げる取組を支援しています。

<補助対象事業>

補助対象事業	内 容	補助上限額 (補助率)
要配慮者支援 対策	家具等の固定金具購入費、感震ブレーカー購入費、戸別受信機・防災ラジオ・280MHz 帯電気通信業務用ページャーの購入費、取付工事費（新築に感震ブレーカーを設置する場合を除く。）、委託費（人件費を含む。）	なし (1/2)
ブロック塀耐 震化促進	耐震性能のないブロック塀の改修経費及びフェンスの改修経費（ブロック塀撤去費用を含む。）	
津波対策等	避難場所の整備、避難誘導等の設置、避難標識の設置、簡易な避難路の整備、海拔表示板の設置等の整備（用地購入費及び整備避難路上の家屋等の撤去費用、維持・管理経費、整備に係る基本・実施設計経費を除く。）	
自主防災組織 の設置及び活 動促進	自主防災組織への資機材整備及び訓練等の活動費用	なし (1/2)
防災意識の普 及促進	ハザードマップの新規作成・大幅修正に係る費用及び住民参加型研修、講演会、訓練等	ハザードマップ作成は 10,000 千円、その他はな し (1/2)
地域防災拠点 等施設整備	防災拠点施設や避難所の運営に必要な資機材等の整備、大規模災害時のヘリコプター夜間運航体制を整備するための可搬型照明設備、孤立集落対策としてのヘリポート整備事業に係る工事（畝地における整地、舗装、取付道路の設置等）	ヘリポート整備は 1 箇所 7,000 千円、その他はなし (1/2)
津波避難計画 等策定支援	津波の浸水が想定される全 19 市町において、「和歌山県津波避難計画策定指針」に基づき、住民一人ひとりの避難方法を定めた「津波避難計画を策定するための、ワークショップ、地域ごとの津波避難計画策定	すさみ町は 4,000 千円、白 浜町は 5,000 千円、その他 は 3,000 千円 (1/2)
地震・津波災害 からの復興計 画の事前策定 支援	地震・津波災害から迅速に復興するために策定する復興計画策定（復興まちづくりに関する専門家等への謝金や交通費、住民との話し合いやシンポジウム開催等に係る会場借り上げ、復興まちづくりイメージ図等の図面作成、「市町村復興計画」の冊子作成）	なし (1/2)

<補助金交付実績>

◆令和 6 年度

団体名	事業内容	事業費	補助金額
田辺市	家具転倒防止、戸別受信機設置、ブロック塀耐震化、自主防資機材整備、防災意識の普及促進、地域防災拠点整備	6,945 千円	2,481 千円
白浜町	家具転倒防止、感震ブレーカー設置、戸別受信機設置、ブロック塀耐震化、避難路整備、避難誘導灯・標識設置、防災意識の普及促進、地域防災拠点整備、事前復興計画策定支援	9,568 千円	4,256 千円
上富田町	家具転倒防止、感震ブレーカー設置、防災意識の普及促進	8,348 千円	2,973 千円
すさみ町	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、避難誘導灯設置、自主防資機材整備、地域防災拠点整備	5,686 千円	2,444 千円

◆令和5年度

団体名	事業内容	事業費	補助金額
田辺市	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、避難誘導灯設置、自主防資機材整備、避難訓練実施支援、地域防災拠点整備、事前復興計画策定支援	21,404 千円	8,105 千円
白浜町	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、避難路整備、避難誘導灯・標識設置、地域防災拠点整備	7,709 千円	3,546 千円
上富田町	感震ブレーカー設置、地域防災拠点整備	2,304 千円	1,150 千円
すさみ町	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、避難誘導灯設置、自主防資機材整備、津波ハザードマップ更新、地域防災拠点整備	12,271 千円	5,840 千円

◆令和4年度

団体名	事業内容	事業費	補助金額
田辺市	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、津波避難ビル看板設置、避難路整備、自主防資機材整備、地域防災拠点整備、事前復興計画策定支援	15,617 千円	6,756 千円
白浜町	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、避難路整備、避難誘導灯・標識設置、地域防災拠点整備	4,444 千円	2,086 千円
上富田町	家具転倒防止、地域防災拠点整備	470 千円	234 千円
すさみ町	避難誘導灯設置、自主防資機材整備、地域防災拠点整備、ブロック塀耐震化	6,941 千円	2,915 千円

3. 消防

消防関係の補助事業には、コミュニティ助成事業、消防団設備整備費補助金等があります。

叙勲・表彰関係では、市町や本庁と連携し、春秋叙勲、危険業務従事者叙勲、総務大臣表彰、消防庁長官表彰、県知事定例表彰、日本消防協会表彰、県消防協会表彰の照会、とりまとめ、推薦などの業務を行っています。

西牟婁地域消防協会（任意団体）は、西牟婁郡三町の町長及び消防団長で組織されており、その活動としては2年に1回開催される、消防用機械器具の取扱い及び操作の基本について競う消防操法大会への出場や、消防操法大会が開催されない年には県外にある消防施設への視察研修を実施しています。また、西牟婁郡三町の消防功労者に対して西牟婁地域消防協会会長表彰の授与や白浜警察署と協力して年末特別警戒の激励なども実施しています。会長は振興局長となっています。

＜コミュニティ助成事業実績＞

年 度	市 町 名	補 助 額	内 容
令和6年度	白浜町	600 千円	活動備品の整備（プロジェクター、スクリーン、スピーカーの購入）
令和5年度	採択なし		
令和4年度	白浜町	900 千円	活動備品の整備（AED トレーナー、訓練人形の購入）

<消防団設備整備費補助金実績>

年 度	市 町 名	補 助 額	内 容
令和6年度	上富田町	480 千円	資材の整備（浮環、高視認性雨衣、救命胴衣の購入）
令和5年度	採択なし		
令和4年度	田辺市	464 千円	資材の整備（ボート、高視認性雨衣、防塵メガネ、耐切創性手袋、トランシーバーの購入）

4. 危機管理

和歌山県危機管理計画が対象とする危機事象は、県民の社会経済活動や日常生活に重大な影響を及ぼす緊急事態や、県の行政運営に重大な支障をもたらす突発的な事故等です。

計画では、広報課長、各部の局長、会計局長、各振興局長、教育委員会の各局長が、危機管理を統括する「危機管理責任者」とされています。

また、危機管理責任者を補佐し、危機管理体制の確立を推進するため、各振興局においては地域づくり部長等が「危機管理担当員」とされています。

和歌山県地域防災計画（自然災害、重大事故）など個別に計画があるものや個別の危機事象への対応は、担当の各部署が責任を持って対応することとなっていますが、想定にない事案及び組織横断的視点や総合調整機能が必要な事案については、和歌山県危機管理計画によって対処することになっており、令和2年2月に「新型コロナウイルス感染症に係る現地対策本部」を計画に基づいて設置し、対応にあたりました。

○産業振興グループ

１．商工業

商工業の概要

田辺・西牟婁地方は、農業、水産業が盛んで、特に梅は隣接するみなべ町と共に日本一の産地を形成しているため「梅干し」の加工業者が多く、また「なんば焼き」、「魚の干物」等の水産加工業者も海岸部市町に多く見られます。

また、観光地を多く抱えているためサービス業に従事される方々も多くみられます。

（１）商工会・商工会議所

商工会等は、商工会法及び商工会議所法に基づき市町村（合併前）の行政区域ごとにその地区内の商工業者を会員として設立された地域組織であり、会員相互の利益と地域経済の向上発展を目的として活動を行っています。

（２）小規模事業経営支援事業

地域経済社会の形成に大きな役割を果たしている小規模事業者(※)の振興と安定を図るため、小規模事業者の経営又は技術の改善発達に係る指導に関し、経営指導員等の配置や記帳の機械化、情報化の推進並びに広域的、専門的な指導活動を実施する商工会及び商工会議所に対して県から補助金を交付して小規模事業経営支援事業を実施しています。

※ 小規模事業者とは、商工会法第２条に規定する商工業者で、常時使用する従業員数が２０人（商業又はサービス業に属する事業を主たる事業として営む者については５人）以下のものをいう。

【管内商工会等の概況】（令和7年4月現在）※「会頭・会長名」はR7.6現在「商工業者数」はR3調査

	会頭・ 会長名	商工業 者数	会員数	事務 局長	経営 指導員	経営支 援員	記帳 指導員	一般 職員
田辺商工会議所	金谷清道	3,099	1,952	1	5	2	2	3
牟婁商工会	不動正巳	370	252	1	2	1	2	—
龍神村商工会	伊藤研治	183	155	—	1	1	1	—
中辺路町商工会	出水豊数	144	131	—	1	1	1	—
大塔村商工会	陸平輝昭	95	88	—	1	—	1	1
本宮町商工会	渕上太志	167	122	1	1	1	1	1
白浜町商工会	稗田 敦	765	596	1	3	1	1	1
日置川町商工会	森田清郎	139	146	1	1	1	1	—
上富田町商工会	岩崎 央	536	388	1	2	1	1	1
すさみ町商工会	稲葉 久	221	219	—	2	1	1	—
合 計		5,719	4,049	6	19	10	12	7

【商工業者数】

※令和3年経済センサス活動調査数値（和歌山県）

産業大分類別	田辺市	白浜町	上富田町	すさみ町	和歌山県
農業、林業、漁業	32	7	6	2	308
鉱業、採石業、砂利採取業	1	—	—	—	7
建設業	413	105	79	37	4,235
製造業	299	56	48	24	3,526
電気・ガス、熱供給・水道	8	2	3	—	68
情報通信業	26	7	—	1	268
運輸業、郵便業	73	15	18	4	922
卸売業、小売業	1,183	214	148	51	11,385
金融業、保険業	88	5	6	3	723
不動産、物品賃貸業	226	36	21	9	2,787
学術研究、専門・技術サービス	152	33	22	1	1,634
宿泊業、飲食サービス	659	264	63	30	5,221
生活関連サービス、娯楽業	428	82	53	38	3,959
教育、学習支援業	118	13	16	5	1,362
医療、福祉	385	80	77	12	4,361
複合サービス事業	52	12	6	5	436
サービス業	343	91	44	24	4,107
計	4,486	1,022	610	246	45,309

2. 県産品のブランド推進

県内各産地や業界との連携を強化し、オール和歌山での販売促進活動を展開します。

プレミアム和歌山

県外、さらには海外へ積極的に販売促進を図っていくために、優れた県産品を「プレミアム和歌山」に選定・推奨することで、和歌山県産品のブランドイメージの確立を図っています。

また、「プレミアム和歌山」に対する、市場や消費者の評価を商品の品質向上や新製品開発に結びつけることで、県内産業の発展促進を目指しています。

審査委員会において、特に優れていると認められた商品を、「特別賞」や「奨励賞」に選定しており、過去において西牟婁管内では、令和元年度に「紀州南高梅ひつまぶし」（太田商店）、平成30年度に「熊野本宮・釜餅（よもぎ）」（(有)熊野鼓動）が審査委員特別賞を受賞したほか、令和5年度に「JAPANESE CRAFT LIQUEUR くまの」（プラム食品（株））、令和2年度に「KOGUCHI スツール」（木の工房 樫）が審査委員奨励賞を受賞しています。



【審査委員特別賞】

（令和元年度）



紀州南高梅ひつまぶし

（平成30年度）



熊野本宮・釜餅（よもぎ）

【審査委員奨励賞】

（令和5年度）



JAPANESE CRAFT
LIQUEUR くまの

（令和2年度）



KOGUCHI スツール

◆令和7年4月1日現在の認定数

372事業者、1,054商品（西牟婁管内：63事業者、177商品）

※プレミアム和歌山の制度の見直しに伴い、令和6年度から新規・更新申請の受付を停止しています。また、令和7年度から「プレミアム和歌山」にかわるものとして、新たな県産品の推奨制度である「和歌山一番星アワード」が始動します。

3. 観光

観光の概要

田辺・西牟婁地方は、「日本三古湯」の白浜温泉、「日本三美人の湯」の龍神温泉、世界遺産に登録された「つぼ湯」がある湯の峰温泉など、多くの温泉地を有する優れた保養地であり、多彩な歴史、文化とそれらを育み続けたすばらしい山、川、海の自然が残る風光明媚な地域です。

黒潮あらう太平洋の雄大な海岸美は、白浜町での夏場のリゾート観光や田辺市・すさみ町でのマリンスポーツ等の体験型観光に適しています。

また、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」では、熊野の歴史や文化を感じる景観や伝承など見どころが特に多い「中辺路」、枯木灘や熊野灘といった太平洋を望む雄大な景観が特徴的な「大辺路」など参詣道によって異なる楽しみ方があり、時代を超えた神秘の世界に包まれ、体と心をリフレッシュできます。

これら地域の魅力をより多くの観光客に楽しんでもいただくため、各種取り組みを実施しています。

（１）県全体の取り組みについて

・わかやま歴史物語

歴史・文化のストーリーに秘話やSNS映えスポット、食、温泉、体験などの観光資源を組み合わせた100の旅モデルを「わかやま歴史物語」としてまとめ、メディアや特設WEBサイトなどを活用し、和歌山県のもつ歴史的な価値や魅力を発信しています。西牟婁管内では、闘雞神社の源平合戦の逸話や、湯の峰温泉の小栗判官伝説をはじめとした25のストーリーを周辺の観光スポットやグルメ等を組み合わせて紹介しています。



「わかやま歴史物語」



「わかやま歴史物語」WEB サイト

・アウトドア観光

新型コロナウイルス感染症の流行以降、自然に触れ合うアウトドア志向が高まっているなか、こうした旅の変化をとらえ本県の豊かな自然を活かしたアクティビティやキャンプなどアウトドアのブランド力強化を図っています。

また、アクティビティ体験や、キャンプ場・グランピング施設のオンライン予約ができるポータルサイトを構築することにより、利用者の利便性向上と魅力発信を行っています。

西牟婁管内では、田辺市がアウトドア層だけでなく気軽に登山が楽しめる低山トラベルを切り口にした登山ルートを展開しています。また、すさみ町にあるキャンプノットは、日本最大級のキャンプ場予約サイト”なっぶ”において、西日本キャンプ場の口コミ投稿部門で3年連続1位となり殿堂入りするなどアウトドア観光の促進が図られています。



「わかやまほんまもん遊び」WEB サイト



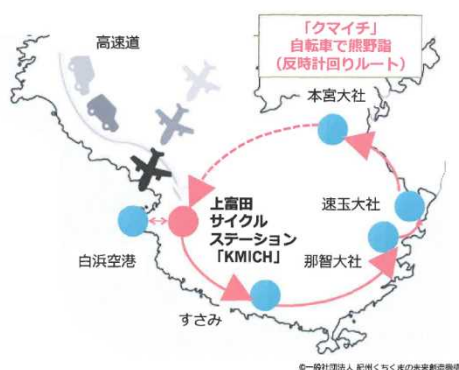
「わかやまほんまもんキャンプ」WEB サイト

・サイクリング王国わかやま

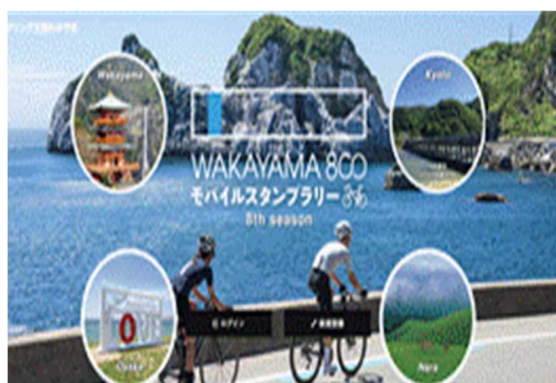
県内全域に整備された 800 km を超えるサイクリング推奨ルートと絶景・食・温泉などを組み合わせることで、無限大のサイクリング旅が楽しめる、まさに「和歌山がサイクリングの最適地」というイメージ定着を図っています。

また、サイクリストに優しい宿泊施設の認定やサイクルステーションの拡大、公式WEBサイトによる発信、県内サイクルイベントへの支援、モバイルスタンプラリーの実施など、幅広いニーズに応えたサイクリング環境を提供しています。

西牟婁管内では、自転車をもそのまま電車に持ち込めるサービス(サイクルトレイン)の実施や、すさみ町サイクリング大会実行委員会が主催する「RIDE ON SUSAMI」が開催されています。また、自転車による熊野詣『クマイチ』のブランド化を目指し、紀南地域の市町村等により構成された紀南エリアサイクルツーリズム協議会を中心として、プロモーション活動等を実施しています。



「クマイチ」ルートマップ



「モバイルスタンプラリー」WEB サイト

・ほんまもん体験

自然、農林漁業や歴史文化、暮らしなどの地域資源を活かした体験型観光「ほんまもん体験」は約 400 のメニューがあり、これらを活用して和歌山を売り出しています。

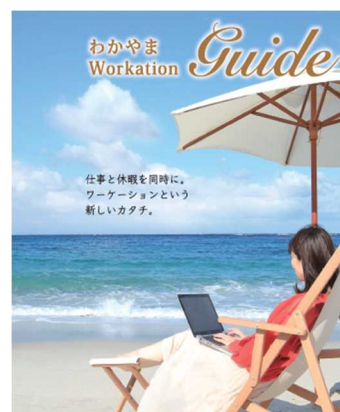
また、「ほんまもん体験」を活用した修学・教育旅行は、県外の児童・生徒が「和歌山の魅力」に触れる絶好の機会であり、将来、和歌山を再訪する潜在的なお客さまを増加させるツールとして積極的な誘致活動を展開しています。

西牟婁管内では、日置川地域を中心に（一社）南紀州交流公社が、平成 20 年 8 月から「ほんまもん体験」と「民泊」による教育旅行受入れを開始し、17 年間、首都圏の大規模校やアジアの学生等との交流の拡大と、地域の魅力発信や活性化に繋がっています。

・ワーケーション

全国の自治体に先駆けて、平成 29 年から「ワーケーション（ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を掛け合わせた造語）」を推進しており、企業側と受け入れ側の橋渡しを行うなど全県的な受入れ体制の整備を進めており、ワーケーションで和歌山を訪れる人や企業向けにサービスを提供する事業者や団体を「Wakayama Workation Networks」として公表しています。

西牟婁管内には、充実した設備を備えたワークスペースや個性豊かな宿泊施設、歴史的価値のある世界遺産など環境が揃っています。



・和歌山県公式観光サイト

和歌山県の各市町村の祭りや伝統行事、イベントの一覧が掲載されています。季節やエリアを検索すると、その時に開催されている観光のイベントの情報がわかるサイトとなっており、各市町村が随時、観光情報を更新し、和歌山県の観光誘客促進と魅力を発信しています。



田辺祭



白良浜



救馬溪観音



イノブータン王国建国祭

（２）南紀エリア独自の取り組みについて

田辺市・西牟婁郡 4 市町の行政や観光協会などでつくる「南紀エリア観光推進実行委員会」（事務局・地域づくり課）では管内の広域観光の推進に取り組んでいます。

地域の実情やニーズをもとに広域観光の企画、立案を行い、南紀エリアの P R や観光客誘致の取組を進めています。

【参考：過去 3 年間の取組内容】※ 〈 〉 内は事業費

■令和 6 年度

・南紀エリア周遊ウォークイベント〈約 50 万円〉

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録 20 周年を記念したウォークイベント

・南紀エリア広域観光パンフレットの作成〈約 66 万円〉

南紀エリア全体の魅力を一度に伝えることができるパンフレットを作成し、広域周遊を促進

・観光プロモーション〈約 5 万円〉

県内外でのイベントに出展し広域観光を PR



南紀エリア周遊ウォークイベント



南紀エリア広域観光パンフレットの作成

■令和5年度

・「海の熊野古道 大辺路」増刷・改訂〈約32万円〉

既存のパンフレットをリニューアルし、熊野古道大辺路への更なる誘客を促進

・インフルエンサーによる魅力発信(周遊ツアーの実施)〈約85万円〉

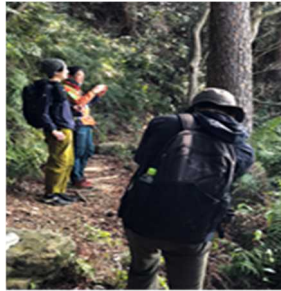
アウトドア雑誌『ランドネ』の編集者・KOLに南紀エリアに実際にお越しいただき、各SNSやデジタル雑誌にて南紀エリアの魅力を発信してもらい、閑散期の集客・周遊促進・滞在時間の延長を促進

・観光プロモーション〈約12万円〉

県外イベントにブース出展し広域観光をPR



「海の熊野古道 大辺路」



インフルエンサーツアー



観光プロモーション



■令和4年度

・南紀エリアオフ会&プレスツアーの開催〈約70万円〉

Instagramのフォロワーを対象とした新定番体感ツアーと題したオフ会と首都圏メディアを対象に「アウトドア」をテーマにしたプレスツアーを開催し、南紀エリアの魅力を効果的に発信

・「#とっておきの南紀エリア リポストキャンペーン」〈約22万円〉

「#とっておきの南紀エリア」を付けてInstagramに投稿されたものをリポスト、また毎月優秀作品を選定し特産品をプレゼントし、Instagramを効果的な広報ツールとして活用

・観光プロモーション〈約29万円〉

県内外のイベントにブース出展し、広域観光や特産物のPRを実施



オフ会（ひき岩群）



プレスツアー（すさみ海水浴場）



リポストキャンペーン



観光プロモーション

観光客推計

令和6年は、夏季に猛暑や南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表による影響はあったものの、外国人観光客が好調であったこともあり、観光入込客総数、宿泊客数、日帰客数ともに前年を超える結果となりました。

(単位：人)

市町村名	旧市町村名	総 数		宿泊客		日帰客	
			前年対比		前年対比		前年対比
田辺市	旧田辺市	874,462	97.5%	197,049	108.7%	677,413	94.7%
	旧龍神村	385,876	109.5%	39,427	97.9%	346,449	111.0%
	旧中辺路町	278,679	108.7%	13,021	209.2%	265,658	106.2%
	旧大塔村	42,673	113.5%	2,233	88.5%	40,440	115.3%
	旧本宮町	1,617,365	110.7%	148,565	109.8%	1,468,800	110.8%
	計	3,199,055	113.4%	400,295	109.5%	2,798,760	114.0%
白浜町	旧白浜町	3,007,178	101.7%	1,717,336	103.8%	1,289,842	99.1%
	旧日置川町	177,350	93.7%	15,713	71.2%	161,637	96.7%
	計	3,184,528	101.2%	1,733,049	103.3%	1,451,479	98.9%
上富田町		262,159	99.8%	15,679	61.2%	246,480	104.0%
すさみ町		991,398	106.0%	45,463	123.2%	945,935	105.3%
計		7,637,140	106.6%	2,194,486	104.2%	5,442,654	107.6%
県 計		32,731,000	102.5%	5,064,000	102.9%	27,667,000	102.4%

[参考数値：令和6年観光客動態調査速報値]

(3) 南紀白浜空港の利用促進

熊野白浜リゾート空港地域振興委員会（振興局長が委員）では、県内唯一の空港である南紀白浜空港（愛称：熊野白浜リゾート空港）を活用した地域振興を目指し、PR活動やチャーター便の誘致、空港連絡バスの運行などを実施しており、令和6年度の利用者数は過去最高となりました。

南紀白浜空港利用状況(令和6年度)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京→白浜	7,873人 (82.63%)	8,774人 (81.90%)	7,388人 (86.07%)	10,026人 (98.34%)	10,707人 (93.81%)	10,070人 (93.48%)
白浜→東京	7,611人 (83.94%)	9,080人 (84.48%)	7,455人 (88.46%)	9,091人 (95.58%)	11,333人 (96.84%)	9,695人 (92.41%)
計	15,484人 (83.27%)	17,854人 (83.19%)	14,843人 (87.25%)	19,117人 (97.01%)	22,040人 (95.35%)	19,765人 (92.95%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
東京→白浜	11,638人 (105.09%)	11,685人 (107.39%)	10,590人 (118.32%)	8,481人 (129.50%)	9,950人 (121.00%)	11,534人 (122.74%)	118,716人 (102.10%)
白浜→東京	11,343人 (104.37%)	11,630人 (106.96%)	9,540人 (124.71%)	9,385人 (128.88%)	9,603人 (121.82%)	11,061人 (125.35%)	116,827人 (103.09%)
計	22,981人 (104.74%)	23,315人 (107.18%)	20,130人 (121.27%)	17,866人 (129.17%)	19,553人 (121.40%)	22,595人 (124.01%)	235,543人 (102.59%)

※ () は前年対比

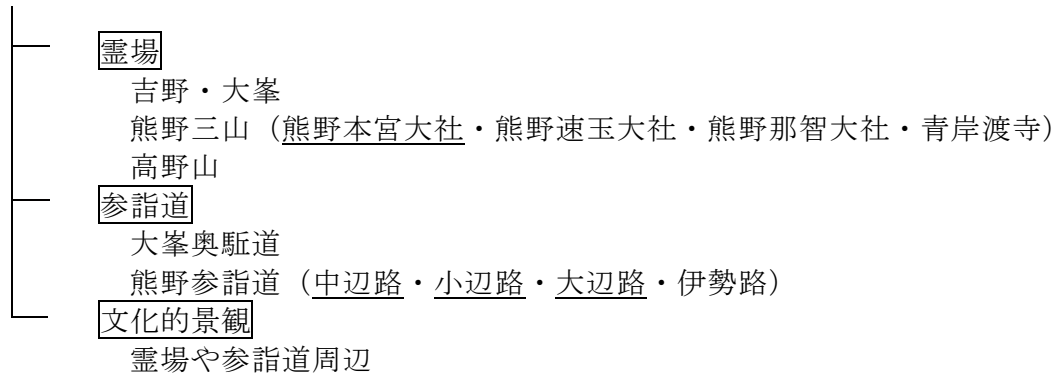
4. 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の概況

世界遺産とは、遺跡や文化的な価値の高い構造物、貴重な自然環境を保護・保全し、人類にとってかけがえのない共通の財産を後世に継承していくことを目的に世界遺産条約（日本は1992年条約締結）に基づき、世界遺産リストに記載されている物件です。

文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類があり、世界では1,000件を超え、国内では26件が登録(R6.7月時点)されています。

『紀伊山地の霊場と参詣道』は、三重、奈良、和歌山の三県にまたがる「紀伊山地の自然」がなければ成立しなかった「山岳霊場」と「参詣道」、及び周囲を取り巻く「文化的景観」が主役であり、世界でも類を見ない資産として価値の高いものであり、平成16年に世界文化遺産として認定され、その後の調査で見つかった山中の区間や保全体制が整った神社の敷地などが、平成28年に追加登録されました。

『紀伊山地の霊場と参詣道』（※下線箇所は、西牟婁管内を示す）



追加登録地点(朱書箇所)



・和歌山県の取組

世界遺産の保存と活用の活動拠点として、和歌山県世界遺産センターを田辺市本宮町に設置し、各世界遺産地域協議会（世界遺産熊野地域協議会、世界遺産大辺路地域協議会）や住民、世界遺産マスター等と協働して、古道の維持補修活動や語り部講習会等による受け入れ体制の整備に取り組んでいます。

（１）和歌山県世界遺産条例（平成 17 年 7 月 1 日施行）

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を人類のかけがえのない宝として引き継ぎ、その意義を国内外に発信し、私たち人類の文化や自然環境の重要性を訴えていくことが大切です。このため全国に先駆けて条例を制定しました。

- 和歌山県世界遺産の日 7 月 7 日
- 和歌山県世界遺産週間 7 月 1 日～7 日

（２）世界遺産マスター

平成 18 年度から世界遺産の周辺環境を含めた資産の保存と適切な活用に民間の活力を活かし、官民が一体となってより一層効果的な保全活動をするために、世界遺産マスター（令和 7 年 3 月現在 134 人）を認定しています。

(3) 世界遺産関係関連事業（令和6年度）

■県世界遺産協議会（和歌山県、関係市町、伊都・西牟婁・東牟婁振興局）

- ・情報発信事業
 - …ホームページにて、「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要や資産を紹介するとともに、保全の重要性について発信（R6 閲覧数：192,067 回）
- ・学術研究資料収集事業
 - …世界遺産に登録されている資産等の価値を把握するため、また展示や学習機能を充実するため書籍を購入（購入 32 冊、寄贈 10 冊）
- ・保存活用団体連携促進研修事業
 - …参詣道保存団体や語り部団体等を対象に参詣道の理解促進や団体の相互交流を促進
 - 〈実施概要〉
 - 日 時：令和7年1月26日（日）
 - 講 師：高野山大学密教文化研究所 受託研究員 木下浩良 氏
 - 団体報告：参加 16 団体からのそれぞれの特徴、活動内容、世界遺産登録 20 周年に実施した事業等の情報交換をした。
 - 現地学習：大日山周遊コース
 - 参加者数：96 名（16 団体／高野地域 12 名、熊野地域 55 名、大辺路地域 14 名、三重県 15 名）
- ・世界遺産講座事業
 - …講演会等を通して、県民に世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の価値を広く啓発し、県民と一体となった保全と活用を進めるために、下記のとおりセミナーを開催
 - 〈開催概要〉
 - 日 時：令和6年9月8日（日）
（※令和6年9月1日（日）に予定していた黒河道でのセミナーは台風 10 号の接近が予想されていたため中止）
 - 場 所：九度山町中央公民館
 - 講 師：高野山大学 木下 浩良 氏
 - 演 題：高野山への表参道の町石道
 - 参加者：48 名
- ・次世代育成事業：県内小中高校が現地で行う世界遺産教育の支援
 - …14 校 463 名で、世界遺産入門と現地学習の日を分けて実施できたこと、実施報告の展示会を行ったことで学習の充実を図ることができた。
- ・参詣道保全活動（道普請）普及啓発事業
 - …企業・団体の社会貢献活動や学校の教育活動等を活用し、多くの世界遺産保全についての理解を深めてもらうことを目的とした「道普請ウォーク」等（51 団体／計 56 回）を実施
- ・世界遺産登録 20 周年記念事業
 - …県内 5 か所で巡回パネル展示を行った。
- ・世界遺産連続講座
 - …これから世界遺産をどのように守っていくかの指針となる連続講座
三霊場（熊野三山、高野山、吉野、大峯）の成立の背景を学ぶ講座
 - 第 1 回 令和6年7月26日（金）
 - ① 世界遺産登録までのエピソードを語る
 - ② 熊野三山成立の背景を語る

第2回 令和6年9月20日（金）

- ① 世界遺産登録から10周年のエピソードを語る
- ② 高野山成立の背景を語る

第3回 令和6年11月15日（金）

- ① 世界遺産登録20年目までのエピソードとこれからを語る
- ② 吉野、大峯成立の背景を語る
- ・募金事業
 - …世界遺産登録20周年記念事業として、各地域協議会が行う世界遺産の価値を広く伝える事業を支援。
- ・事務局 和歌山県世界遺産センター

■大辺路地域協議会（白浜町、すさみ町、串本町、西牟婁振興局、東牟婁振興局）

- ・世界遺産登録20周年記念シンポジウム
 - 日時：令和6年12月1日（日）
 - 場所：すさみ町総合センター
 - 内容：世界遺産の記念講演及びパネルディスカッション
- ・大辺路リレーウォーク
 - 令和6年11月23日（土） 串本町 飛渡谷道
 - 令和6年12月7日（土） すさみ町 タオの峠、長井坂
 - 令和6年12月14日（土） 白浜町 安居の渡し、仏坂
- ・次世代育成事業支援事業
 - …世界遺産の価値を将来にわたり持続していくための次世代への育成
- ・参詣道保全等資機材整備事業
 - …参詣道保全に必要な資機材の整備
- ・事務局 すさみ町教育委員会

■熊野地域協議会（田辺市、新宮市、上富田町、那智勝浦町、熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社、那智山青岸渡寺、西牟婁振興局、東牟婁振興局）

- ・世界遺産登録20周年記念 桂文枝一門落語会創作落語「熊野詣」
 - ～世界遺産と伝統文化の継承について～
 - 日時：令和6年11月2日（土）
 - 場所：新宮市役所別館
 - 内容：故・五代目 桂文枝師匠によって創られた「熊野詣」を四代目桂小文枝師匠が上演
- ・事務局 新宮市教育委員会

5. 南紀熊野ジオパークの取組

南紀熊野ジオパークは、和歌山県南部地域（新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町及び奈良県十津川村の一部）において、世界ジオパークネットワークが定めるガイドラインに基づき、地質及び地形とそれに由来する自然環境、文化資源等の存在について普及啓発するとともにそれらを活用した持続可能な地域の発展を目指しています。

平成26年8月28日に日本ジオパークに認定、平成31年1月に再認定され（4年に1度）、令和元年7月27日に串本町潮岬において南紀熊野ジオパークセンターを開館しました。

令和4年9月、ユネスコ世界ジオパークの国内推薦は見送られたものの、日本ジオパークとして再認定されました（2回目の再認定）。

現在、世界ジオパーク認定に向けて、ジオサイト説明板の改善、マップの作成など課題の解決にあたりながら観光資源としての活用や保全、整備、その他事業に取り組んでいます。

- 県内ジオサイト数：地質・地形サイト 35（西牟婁管内：14）
生物・生態系サイト 4（西牟婁管内なし）
文化・歴史サイト 13（西牟婁管内：1）

※令和 7 年 3 月現在

○南紀熊野ジオパークガイド

南紀熊野には、大地の地形・地質の遺産をはじめ、自然環境や熊野信仰などに関する地域の宝ものが豊富に存在しており、これらの南紀熊野の大地と自然のすばらしさ及び大地に関わる人々の文化や暮らしを伝えるため、ジオパークガイドを養成しています。

現在までに124名の方がガイド講座を修了し、そのうち88名の方が「南紀熊野ジオパークガイドの会（会長：中江孝丸氏）」に所属し、南紀熊野ジオパークの案内役として活躍しています。

○南紀熊野ジオ興しチーム

南紀熊野ジオパークエリアを東（旧新宮市、那智勝浦町、太地町）、西（白浜町、上富田町、すさみ町）、南（串本町、古座川町）、北（北山村、旧熊野川町、奈良県十津川村の一部）の4エリアに分け、ジオパークで地域を盛り上げたいという民産学官のメンバーが集まり「南紀熊野ジオ興しチーム」として、ジオツアーの実施やイベントでの出展等、精力的に活動しています。

○西エリアの主なジオサイト紹介

ジオサイト名 自治体名		説 明
三段壁	白浜町	田辺層群の厚い砂岩や礫岩の地層が波の作用で浸食されてできた高さ50mの崖。海面付近には浸食によってできた洞窟もみられる。周辺には鉱山跡も存在し、地層から鉄や銅などの金属成分が染み出すため、崖の一部は黄～茶褐色に変色している。
		
救馬溪	上富田町	風化や浸食に強い厚い砂岩礫岩層からなる断崖が形成されており、その上に救馬溪観音が建てられている。また、救馬溪には、役行者が開いたとされる修行場があり、小栗判官の伝説も残されている。
		
フェニックス褶曲	すさみ町	かつての海溝に堆積した牟婁付加体の砂岩泥岩互層が海洋プレート沈みの沈み込みによって付加体となる時に形成された。砂岩層が完全に固まる前に陸側に押し付けられ折りたたまれたもので、地層は全体として上下が逆さまになっている。
		

6. スポーツ合宿誘致

田辺市、印南町、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町、串本町及び那智勝浦町の8市町で組織する『南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会』（事務局・地域づくり課）では、紀の国わかやま国体を機に整備・改修された各種スポーツ施設等の効率的な運用を図るため、スポーツ等合宿やスポーツ大会誘致を推進し、南紀エリアの活性化につなげる取組を行っています。令和6年度の県外からのスポーツ合宿受入人数は、92,527人と過去最高となりました。

○令和6年度の主な取組

- ・専門家にプロモーション業務を委託
- ・DM送付によるプロモーション活動
- ・各種助成金制度の運用
- ・助成金チラシ等PR資材の作成

○令和6年度の主な誘致団体

WFDF2024アジア・オセアニアビーチアルティメット選手権大会

アジア・オセアニア地域から800名を超える選手と家族ら関係者を迎え入れ、6月12～16日の5日間、田辺市扇ヶ浜と白浜町白良浜の2会場において開催されました。

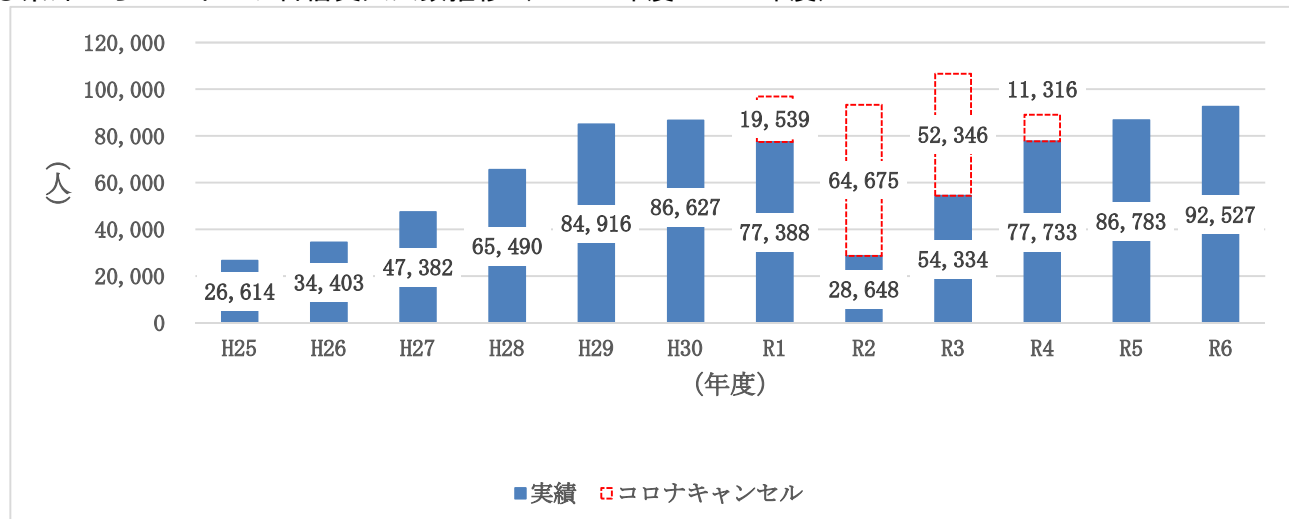


また、大会を盛り上げるため「南紀エリア8市町連携プロジェクト」と題し、南紀エリアの8市町から参加者を募集して「南紀エリアビーチアルティメット交流戦」を開催したり、選手が使用するフィールドを8市町の「のぼり」や「大漁旗」などで装飾したりするなど、受け入れた市町だけではなく、広域連携で実施しました。

○令和6年度のその他競技の主な誘致団体

競技	主な誘致団体
野球	第14回全国大学女子硬式野球選手権大会
	大阪ガス野球部
	K Tウィズ（韓国プロ野球）
サッカー	松本山雅F C
	F C大阪
ラグビー	コベルコ神戸スティーラーズ
	三重ホンダヒート
レスリング	全日本ジュニアレスリング選手権大会近畿ブロック大会

○県外からのスポーツ合宿受入人数推移（H25年度～R6年度）



※H26年度からみなべ町、H28年度から串本町、R4年度から印南町及び那智勝浦町の実績を含む

7. 大阪・関西万博

○多目的エリアへの出展

関西パビリオンに隣接する多目的エリアにおいて、各振興局が主体となって地域の観光 PR や物販などを行いました。

【出展日】

令和7年5月11日（日）～12日（月）

【出展団体名】

南紀エリア観光推進実行委員会、株式会社アワーズ、藤乃湯有限会社

【出展内容】

展示：観光 PR（パンフレットやオリジナルトートバッグの配布）

物販：管内4市町と株式会社アワーズによる特産品販売

体験：炭琴の演奏体験（田辺市）／VR 動画を使用した白良浜の疑似体験（白浜町）／杖づくり体験（上富田町）／ビーチコーミング体験（すさみ町）／動物の履歴書づくり、デジタルコンテンツの作成体験（株式会社アワーズ）／白浜温泉の足湯（藤乃湯有限会社）



○わかやま万博共創チャレンジ事業（地域魅力創出プロジェクト）

令和6年5月から、県内大学・高専・専門学校など、全11校で構成する高等教育共創コンソーシアム和歌山（事務局：和歌山大学）に所属する学生と各振興局が連携し、地域の魅力創出や地域課題解決に向けて取り組む「わかやま万博共創チャレンジ事業（地域魅力創出プロジェクト）」を開始しました。

この取組は、県内で学ぶ学生が主体的に持続可能な地域の実現について考える契機になるとともに、取組を通して、地域と学生の連携が強まることにより、万博後も地域の魅力を創出する取組が継続されることを目的としており、参加した学生たちは、7つの振興局エリアで7つの共創チャレンジを創出し、大阪・関西万博会場（TEAM EXPO パビリオン）でステージ発表と展示を行いました。

【出展日】

令和7年5月3日（土）

【西牟婁振興局のテーマ（地域課題）】

熊野古道 大辺路への誘客促進

【活動内容】

- ・熊野古道大辺路の魅力発見及び課題洗い出しのための現地視察
- ・SNS（インスタグラム）での大辺路に関する情報発信
- ・大阪・関西万博会場で展示するポスター、パネル、PR 動画の作成



この事務概要に掲載している内容は、令和7年5月現在の情報です。